

音脈

10-12



ONMYAKU 2025 AUT
 創刊
100号
 since 1999
 MEMORIAL ISSUE

東京文化会館
 Tokyo Bunka Kaikan

野平一郎プロデュース

フェスティバル・ランタンポレル
～時代を超える音楽～

野平一郎 インタビュー

コンテンポラリー・ミュージックをより多くの人に楽しんでもらうべく、さまざまな工夫を凝らしたプログラムを展開する『フェスティバル・ランタンポレル』。2025年のコンセプトと聴きどころを、音楽祭の旗振り役である、作曲家の野平一郎（東京文化会館音楽監督）に聞いた。

取材・文／八木宏之（音楽評論家）

—— 昨年からスタートした『フェスティバル・ランタンポレル』ですが、どのような手応えがありましたか？

まず、務川慧悟さんと阪田知樹さんのピアノ・リサイタルには本当にたくさんのお客様が来ていただきました。スターの2人がフェスティバルのコンセプトをよく理解したうえで、ピアノだけでなく、フォルテピアノも弾いてくださったことは、とても意義のあることでした。これはふたりの方から提案してくださったアイデアです。

また『IRCAMシネマ』にも、普段、東京文化会館にはいらっしゃる分野のお客様がたくさん来ていただきました。音楽だけでなく映画という切り口を設けることで、コンテンポラリー・ミュージックに新しい聴衆を呼び込むことができたのは、画期的な出来事だったと思います。

—— アンサンブルの公演にも若い演奏家が多く出演するのは『フェスティバル・ランタンポレル』のひとつの特徴ですね。

東京音楽コンクールで入賞した若手演奏家が出演するだけでなく、彼らがヨーロッパの第一線で活躍する名手とともに音楽を作り上げていくという点が重要です。昨年、『レ・ヴォルク音楽祭』の芸術監督であるヴィオラ奏者のキャロル・ロト＝ドファンさん等と日本の若い演奏家たちはモダン楽器を用いてシューベルトを演奏しましたが、今年は一歩進んで古楽器でのモーツァルト演奏にチャレンジします。普段はモダン楽器を弾いている若手演奏家たちには、とても意義のある経験となるでしょうし、お客様にとっても見どころ、聴きどころのひとつになるでしょう。

—— 作曲家では、マルティン・マタロンとジョージ・ベンジャミンの両氏が今年のプロプログラムの核となります。

マタロンさんは、セリエルな作曲家たちやスペクトル楽派の影響がまだ残っていた1990年代のパリに、全く新しい風を吹き込んだ作曲家でした。伝統的なクラシック音楽では用いられていないアコーディオンのような楽器にも光を当てたことは、その一例です。彼の作品を演

奏するアコーディオンと打楽器のアンサンブル、Trio K/D/M（トリオ・カデム）が、マタロンさんの作品を通して、音楽祭にさらなる広がりをもたらしてくれるでしょう。

また、エレクトロニクスをIRCAMのチームが担当する点にも注目していただきたいですね。

—— ベンジャミンは藤倉 大さんの師としてもその名が知られています。

アルゼンチン生まれのマタロンさんが、クラシック音楽の外にある楽器も積極的に用いているのとは対象的に、ベンジャミンさんはクラシック音楽の伝統に深く根ざした創作を行ってきました。

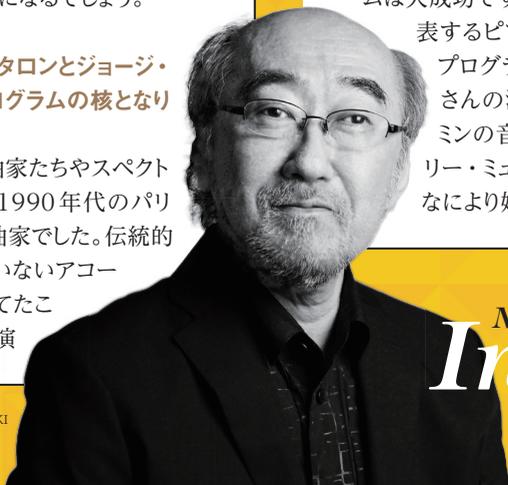
若い頃から才能に溢れていた人で、メシアンやブーレーズは彼のことを高く評価していました。彼がパリ国立高等音楽院の卒業制作として作曲した八重奏曲がラジオ放送された際には、私もチェレスタ奏者として演奏に参加しています。その後、1987年のIRCAM創立10周年の記念演奏会で《アントラ》が初演されたときにも、私はピエール＝ロラン・エマールとともに電子鍵盤楽器のパートを担当しました。そうしたこともあって、私は1980年代から彼のことをよく知っています。ブーレーズも認めるほどの研ぎ澄まされた耳を持つベンジャミンさんは、ミュライユのもとで微分音についても学び、それを自作に取り入れました。

—— ベンジャミンのアンサンブル作品《沈黙に》を指揮する馬場武蔵さんにも近年注目が集まっています。

以前、馬場さんが創設したアンサンブル・トーンシークによるシェーンベルクの《月に憑かれたピエロ》の演奏を聴いたことがあるのですが、ドイツ語のテキストも含めて、作品を隅々まで読み込んでいることが伝わる馬場さんの研ぎ澄まされた指揮に大変感銘を受けました。馬場さんはベンジャミンさんの自作自演に副指揮者として携わり、ベンジャミンの音楽についても豊富な経験をお持ちなので、今回ぜひ指揮をお願いしたいと声をかけました。

—— 今回、ベンジャミンの音楽はモーツァルトの作品とともに演奏されます。現代の作曲家が敬愛する古典の作曲家を組み合わせたプログラムは昨年に続くものですね。

モーツァルトの作品を目当てに足を運んでくださったお客様のなかに、今回初めてベンジャミン作品を聴いて、面白いなと思ってくださる方がいたら、このプログラムは大成功です。今年も、人気、実力ともに日本を代表するピアニストである福間 洸太朗さんがこのプログラムを引き受けてくださいました。福間さんの演奏やモーツァルトの作品が、ベンジャミンの音楽を知るきっかけとなり、コンテンポラリー・ミュージックへの扉を開いてくださったなら、なにより嬉しいです。



NODAIRA Ichiro
Interview

Talk & Lesson

フェスティヴァル・ランタンポレレル トークセッション

11月13日(木) 19:00開演

[登壇者] マルティン・マタロン(作曲家)
 アントニー・ミエ (Trio K/D/M芸術監督、アコーディオン奏者)
 フランク・マドレーネ(IRCAM所長・芸術監督)
 スザンヌ・ベルティ
 (IRCAM副芸術監督、
 マニフェスト・アカデミー部門
 ディレクター)
 野平一郎(東京文化会館音楽監督) 他
 ※日本語通訳付



野平一郎 マルティン・マタロン
 ©YOKO SHIMAZAKI ©Didier Olivré

[料金] 指定1,650円 25歳以下1,100円

新進音楽家の国際キャリアアップ支援

マルティン・マタロンによるマスタークラス

11月16日(日) 11:00開始 会場:東京文化会館 大会議室(要事前登録)

新進音楽家の国際キャリアアップ支援

キャロル・ロト=ドファン(ヴィオラ) & 東京文化会館チェンバーオーケストラ・メンバー ~モーツァルト&ベンジャミン~

11月16日(日) 15:00開演

[出演] ヴィオラ: キャロル・ロト=ドファン ◆♠♣♥
 東京文化会館チェンバーオーケストラ・メンバー
 ヴァイオリン: 篠原悠那 *第11回東京音楽コンクール弦楽部門第2位 ♠♣♥♥
 福田麻子 *第19回弦楽部門第1位 ♥
 ヴィオラ: 田原綾子 *第11回弦楽部門第1位及び聴衆賞 ◆♣♠♥
 チェロ: 上村文乃 *第5回弦楽部門第2位 ♠♥♥
 加藤文枝 *第7・8回弦楽部門第2位 ♣
 西田翔 *第19回弦楽部門入選 ♣
 コントラバス: 白井菜々子 *第13回弦楽部門第3位 ♣
 水野斗希 *第21回弦楽部門第1位 ♣
 指揮: 馬場武蔵 ♣
 メゾソプラノ: 花房英里子 *第19回声楽部門第2位及び聴衆賞 ♣

[曲目] ジョージ・ベンジャミン: ヴィオラ、ヴィオラ 2つのヴィオラのための◆
 モーツァルト: ヴァイオリンとヴィオラのための二重奏曲 ト長調 K423 ♠
 ジョージ・ベンジャミン: 3つの小品 独奏ヴァイオリンのための●
 ジョージ・ベンジャミン: 沈黙にメゾソプラノと7つの弦楽器のための●♣
 モーツァルト: 弦楽五重奏曲 八短調 K406/516b ♥

[料金] S席4,400円 A席3,300円 B席2,200円
 25歳以下(全席共通)1,100円



キャロル・ロト=ドファン 篠原悠那 福田麻子 田原綾子 上村文乃 加藤文枝
 ©T.Taira-date ©Taira-Taira-date



西田翔 白井菜々子 水野斗希 馬場武蔵 花房英里子

舞台芸術創造事業

IRCAMシネマ「チャップリン・ファクトリー」 ~現代音楽と無声映画のコラボレーション~

11月14日(金) 19:00開演

著名な現代作曲家であるマルティン・マタロンの作曲による、チャップリンの3作品「放浪者」「舞台裏」「移民」を上映。アコーディオン、打楽器、ソプラノ、クラリネット、チェロ、トロンボーン、エレクトロニクスによるユニークな作品を生演奏します。



IRCAMシネマ「移民」
 ©Collection Lobster Films

[上映映画] 「放浪者」(1916年)、
 「舞台裏」(1916年)、「移民」(1917年)
 監督: チャーリー・チャップリン
 出演: チャーリー・チャップリン 他

[作曲・指揮] マルティン・マタロン
 (2024年IRCAM-Centre Pompidou, the Compagnie Cadéem, the Centre Henri Pousseur委嘱作品)

[出演] Trio K/D/M(トリオ・カデム)
 アコーディオン: アントニー・ミエ
 パーカッション: エミル・クイヨムクイヤン
 パーカッション: ギ・フリッシュ
 ソプラノ: 砂田愛梨 *第22回東京音楽コンクール声楽部門第2位
 クラリネット: 西川智也 *第9回木管部門第1位
 チェロ: 高木慶太
 トロンボーン: 高瀬新太郎 *第16回金管部門第2位 他
 IRCAMエレクトロニクス: ディオニジオス・パバニコラウ
 IRCAMサウンド・ディフュージョン: シルヴァン・カダー

[料金] 指定3,300円 25歳以下1,100円

プラチナ・シリーズ第3回

Trio K/D/M(トリオ・カデム) ~アコーディオン&パーカッションアンサンブル~

11月15日(土) 18:00開演

[出演] Trio K/D/M(トリオ・カデム)
 アコーディオン: アントニー・ミエ
 パーカッション: エミル・クイヨムクイヤン
 パーカッション: ギ・フリッシュ
 IRCAMエレクトロニクス: ディオニジオス・パバニコラウ
 IRCAMサウンド・ディフュージョン: シルヴァン・カダー

[曲目] 岸野末利加: レーベンスファンク 大太鼓とエレクトロニクスのための
 アンヌ・カステックス: ボード・ゲーム アコーディオン、
 2つの打楽器とエレクトロニクスのための(日本初演)
 マルティン・マタロン: KDMフラグメンツ アコーディオンと
 2つの打楽器とエレクトロニクスのための 他
 ※当初の発表より変更になりました。

[料金] S席4,400円
 A席3,300円
 B席2,200円
 25歳以下(全席共通)1,100円



アントニー・ミエ ギ・フリッシュ
 ©C.Quiroz ©Venera-Red

シャイニング・シリーズVol.19

福間洸太郎ピアノ・リサイタル ~モーツァルト&ベンジャミン~



福間洸太郎
 ©Shuga Chiba

11月17日(月) 19:00開演

[出演] ピアノ: 福間洸太郎
[曲目] モーツァルト: ピアノ・ソナタ第12番 へ長調 K332
 モーツァルト: アダージョ ロ短調 K540
 ジョージ・ベンジャミン: シャドウラインズ—6つのカノン風前奏曲
 モーツァルト: デュポールのメヌエットによる9つの変奏曲 K573
 ジョージ・ベンジャミン: 3つの練習曲より
 第2曲「ハイドンの名による瞑想曲」
 第1曲「アイアンピック・リズムによる幻想曲」
 モーツァルト: ピアノ・ソナタ第17番 変ロ長調 K570

[料金] 指定3,300円 25歳以下1,100円

[フェスティヴァル・セット券料金]

一般15,400円
 25歳以下4,400円
 11/16のマスタークラスを除く5公演にご入場いただけます。
 (11/15・11/16はS席)



フェスティヴァル・ランタンポレレルについてはこちら



フェスティヴァル・ランタンポレレル1回券・セット券購入者特典についてはこちら

スペシャル

対談

野平一郎 × マルティン

東京文化会館音楽監督

作曲家

野平一郎 マタロンさんは、1988年に、フランス南部のヴィルヌーヴ＝レザヴィニョンで開かれていた夏の講習会「サントル・アカント」に受講生として参加されていたとうかがいました。私はこの年、ピアニストとして「サントル・アカント」に参加していたのですよ。1970年代から1990年代にかけて、ここで毎夏、ひとりの作曲家を講師に招いた、コンサート付きの勉強会が開催されていました。講師陣はメシアン、ブーレーズ、リゲティ、クセナキスなど錚々たる顔ぶれで、1988年はブーレーズの年でした。

マルティン・マタロン 私は1987年のメシアンの年と、翌年1988年のブーレーズの年に参加しました。1988年は、皆でブーレーズの《レポン》を勉強したのを覚えています。

野平 このときは同じ場を共有したというだけだったのですが、1990年代に入って、マタロンさんがIRCAMでの活動をスタートされると、コンサートで作品を聴く機会も増え、その存在と才能を意識するようになりました。私が今日最初に伺いたいのは、マタロンさんがどのようにして映画音楽に関心を持ち、それに取り組むようになったのかという点です。

マタロン まず申し上げたいのは、私にとって「映画音楽」と「シネ・conseil(シネマ・コンサート)」は全く別のものだということです。「シネ・conseil」のための音楽は、映画音楽のように事前に録音されたものではなく、ライブでの演奏を前提にしています。サイレント映画の場合、言葉が聞き取れるように配慮する必要もありませんので、映像との関係において、より自由に作曲することができます。IRCAMの依頼で最初に無声映画のための音楽を書いたのは、1995年のことで、フリッツ・ラング監督の『メトロポリス』(1927)でした。このときの経験は私にとってかけがえのない財産となりましたし、書き上がった音楽には大きな手ごたえがありました。その後もシュルレアリスムの表現で知られるスペインの映画監督、ルイス・ブニュエルや、今回日本で取り上げられるチャーリー・チャップリンのほか、エルンスト・ルビッチやバスター・キートンの作品など、多くの無声映画のために作曲を続けてきました。一方、いわゆる映画音楽は、若い頃、1作品に携わっただけです。

野平 「シネ・conseil」では、作曲家はより自由なのですね。

マタロン 映画音楽は、映画の一要素であり、映画におけるひとつの機能に過ぎません。映画制作の現場では監督の意向に沿って作曲することが求められますし、俳優たちの台詞がなにより尊重されます。それに対して、「シネ・conseil」はあくまでコンサートであり、映像が音楽に付随していると言うこともできるでしょう。無声映画の監督たちはみなこの世を去って、もはや

コミュニケーションをとることはできませんので、作曲家は自分が望むように音楽を書くことができますし、そこでは音楽が主体なのです。

野平 作曲の基礎はアルゼンチンで学ばれたのですか？

マタロン いいえ、作曲は主にアメリカで勉強しました。ボストン音楽院とニューヨークのジュリアード音楽院で作曲を学んだのち、1992年にパリへ移り住み、この街で作曲家としてのキャリアを歩んできました。IRCAMの依頼で作曲したホルヘ・ルイス・ボルヘスの展覧会と『メトロポリス』の「シネ・conseil」のための音楽は、パリに来て最初の大きなプロジェクトでした。

野平 どのようなアプローチで無声映画の



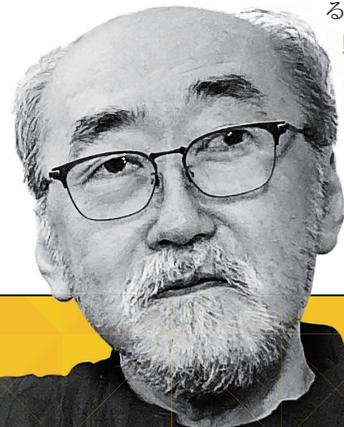
・マタロン

『フェスティヴァル・ランタンボレル』の開催に先立ち、音楽祭で作品が特集されるアルゼンチン生まれの作曲家、マルティン・マタロンと、東京文化会館音楽監督の野平一郎による作曲家対談が実現した。これまで、数多くの無声映画のために音楽を書いてきたマタロンが、「シネ・コンセル」と「映画音楽」の違いなど、『チャップリン・ファクトリー』を楽しむためのヒントをじっくりと語る。

ための音楽を書いているのですか？

マタロン 第1作の『メトロポリス』から、私はコンピュータを用いて音楽を書いています。コンピュータのおかげで楽器、エレクトロを映像と完全にシンクロさせることができるのです。チャップリンの作品でも、作曲の基本的な手法は同じです。「シネ・コンセル」の音楽は従来の映画音楽よりも自由なものではありますが、音楽は観客と映像の接続点としても機能するものですし、両者がリンクしていることでそこに新しいイリュージョンが生まれるのです。

野平 「チャップリン・ファクトリー」では、『放浪者』『舞台裏』『移民』の3作品が選ばれています。これはIRCAMからのリクエストだったのでしょうか？



NODAIRA Ichirō
Martín MATALON

Special Dialogue

マタロン 作品は私が選びました。この3つの映画はどれも際立った個性を持つ作品で、チャップリンの映画の複雑な美学を、それぞれ異なる角度から捉えています。『放浪者』にはコメディ・デラルテの要素が含まれていますし、『舞台裏』はチャップリンのロマンティックな側面を映し出しています。そして『移民』は、今日大きな問題となっている「移民」という社会的テーマを扱っています。どれもチャップリンを語るうえで欠かすことのできないものであり、そうした彼の多面性に光を当てたいと思いました。

野平 『チャップリン・ファクトリー』の音楽に、アコーディオンと打楽器を用いたのはなぜなのでしょう？

マタロン アコーディオンと打楽器が好きなおもしろい理由のひとつですが、この編成になった最大の理由は『チャップリン・ファクトリー』がTrio K/D/M(トリオ・カデム)の委嘱により書かれたからです。アコーディオン奏者のアントニー・ミエ、そしてふたりの打楽器奏者、エミル・クイヨムクイヤンとギ・フリッシュからなるTrio K/D/Mは、大変ユニークかつ、才能溢れるアンサンブルで、私は彼らのためにいくつも作品を書いています。

野平 『フェスティヴァル・ランタンボレル』では、Trio K/D/Mのコンサートも開催され、そこでもマタロンさんの作品が演奏される予定となっていますね。

マタロン 私がTrio K/D/Mのために書いた最初の作品は三重協奏曲で、この作品はカタールで初演されました。今回日本で演奏される《KDM フラグメンツ》は、Trio K/D/Mのために書いた2曲目の作品になります。カタールでのプロジェクトでTrio K/D/Mの演奏は私に強い印象を残しました。そこで、改めて彼らの魅力を引き立つ作品を書くことにしたのです。

野平 『フェスティヴァル・ランタンボレル』では、マタロンさんのマスタークラスも開催される予定です。マタロンさんはどのような切り口で、日本の若い作曲家たちに指導をされるのでしょうか？

マタロン マスタークラスでは「シネ・コンセル」をテーマに、映像に対してどのように作曲するのか、お話したいと思っています。日本へ行くのは今回が初めてですが、リヨン国立高等音楽院ではこれまでも山本哲也さんなど日本の若い作曲家を指導してきたので、マスタークラスで日本の新しい才能と出会えるのをとても楽しみにしています。

野平 マタロンさんは今回が初来日なのですね！

マタロン 日本の作曲家、とりわけ武満徹の音楽には大きな影響を受けました。『メトロポリス』の作曲で壁にぶつかったとき、武満が黒澤明の『乱』のために書いた音楽が私に多くのヒントを与えてくれました。この秋、ついに日本を訪れることができるのを今から楽しみにしています。

現代と古典の音楽のクロスオーバー

透明感や精妙さ、 あるいは陰影 —モーツァルトと ベンジャミン—

11月13日から11月17日にかけて、今年も「フェスティヴァル・ランタンポレル」が開催される。「ランタンポレル」とはフランス語で「時代を超えた」の意味。昨年、東京文化会館の野平一郎音楽監督のプロデュースによりスタートした新しい音楽祭だ。第2回となる今年は、モーツァルトと現代イギリスの作曲家ジョージ・ベンジャミンにフォーカスする。

飯尾洋一（音楽ジャーナリスト）

この音楽祭がコンセプトとして掲げるのが、「現代と古典の音楽のクロスオーバー」。専門化が進んで一般の聴衆にとって近づきたいものになりつつある現代音楽の世界と、演目が固定化しがちなクラシック音楽の世界を結びつけて、新たな広がりを生み出そうという狙いが込められている。

現代音楽の演奏会に足を運ぶと、客席に常連のお客さんをよく見かける。名前は知らないけれど、顔はよく知ってる人がだんだん増えてくる。熱心なファンが多いといえばその通りなのだが、新しい聴衆が増えなければ困るのはどんな分野も同じ。新しい音楽を演奏しているはずなのに、客席側に新しい聴衆が入ってこないのはなんだか落ち着かない状況だ。

そもそも現在では古典とされている音楽も、書かれた当時は現代音楽だったはず。新しい音楽がくりかえし演奏され、やがて時を経ると古典になり、クラシック音楽のレパートリーに登録される。これが自然なプロセスだろう。ところが、近年の状況を見ると、ことはそう単純に進まないのだと思わざるを得ない。現代音楽の傑作が時を経ると、その内部で「現代音楽の古典」になり、「クラシック音楽」とは別ジャンルの音楽として定着しているようにも見える。

そんな状況に一石を投じるのが「フェスティヴァル・ランタンポレル」の試みだ。古典と現代の垣根を取り払い、ふだんは古典を好む聴衆にも現代音楽を楽しんでもらうための好企画が並ぶ。とりわけ、注目したいのはフランスのレ・ヴォルク音楽祭との連携による、現代音楽と古典を組み合わせたシリーズ。昨年の第1回では、ベートーヴェンと現代フランスの作曲家フィリップ・マヌリ、さらにシューベルトと現代ドイツの作曲家ヘルムート・ラッヘンマンを組み合わせたプログラムで、4人の作曲家をとりあげた。今年の第2回では、モーツァルトと現代イギリス

の作曲家ジョージ・ベンジャミンの2人にフォーカスする。

これは昔の作曲家と今の作曲家をただいっしょに並べるだけのシリーズではない。両者の間にはなんらかのつながりが意識されている。今回に関していえば、野平音楽監督は3月の記者発表会で、両者がともに早熟の天才少年であったこと、そしてベンジャミンにとってもっとも尊敬する作曲家がモーツァルトであることを挙げていた。

モーツァルトが音楽史上まれに見る神童であったことはよく知られている。少年時代のモーツァルトは父親に連れられてヨーロッパ各地を旅し、その神童ぶりを発揮した。1960年生まれのベンジャミンも早くから才能を認められ、10代後半でパリ音楽院でメシアンのアシスタントとなり、まだ学生だった1980年に著名な音楽祭BBCプロムスでオーケストラ作品が演奏されて、脚光を浴びた。

今回は2公演で、モーツァルトとベンジャミンが組み合わせられる。ひとつはヴィオラのキャロル・ロト＝ドファンと東京文化会館チェンバーオーケストラ・メンバーによる11月16日の公演だ。弦楽器を中心とした室内楽作品が集められ、楽器編成の共通性に注目する。たとえば、ベンジャミンが2台のヴィオラのために書いた「ヴィオラ、ヴィオラ」と、モーツァルトのヴァイオリンとヴィオラのための二重奏曲ト長調が並べられる。ベンジャミンがメゾソプラノと7つの弦楽器のために書いた「沈黙に」と、モーツァルトの弦楽五重奏曲ハ短調を並べる趣向も興味深い。

一方、11月17日の福間洸太郎ピアノ・リサイタルでは、ピアノ曲が集められる。モーツァルトのピアノ・ソナタ第12番ヘ長調やアダージョ 短調、「デュポールのメヌエットによる9つの変奏曲」他に挟まれて、ベンジャミンの「シャドウラインズ—6つのカノン風前奏曲」、3つの練習曲より「ハイデンの名による瞑想曲」「アイアンピック・リズムによる幻想曲」が演奏される。

もちろん、モダンな書法で書かれたベンジャミンの音楽は、外見上まったくモーツァルトに似ていない。しかし、ふたりの作曲家を並べてみると、そこにうつつらとした共通項が浮かび上がってくるのではないだろうか。それは上質のウィットかもしれないし、透明感や精妙さ、あるいは陰影に富んだ音楽かもしれない。きっとモーツァルトを聴くことでベンジャミンの聴き方が変わり、ベンジャミンを聴くことでモーツァルトの聴き方が変わってくるはずだ。

とくにモーツァルトは好きだけどベンジャミンになじみがないという方に向けて、ひとつ安心できる材料を挙げておきたい。今回のベンジャミン作品には長い曲がないので、入門者にも聴きやすい。曖昧模糊とした曲想が切れ目なく続いて途方に暮れる、といった心配は無用である。また、無調の音楽といっても激しい不協和音が延々と連続するタイプの音楽ではなく、とても洗練されたテストの音楽だ。だから、必要以上に身構えることなく、オープンな気持ちで音楽に接すればいい。きっと新しい音楽の喜びを見つけられることだろう。

IRCAMシネマ「チャップリン・ファクトリー」

～現代音楽と無声映画のコラボレーション～

文／岡田秀則（国立映画アーカイブ主任研究員）

映画を再演出する音楽

20世紀に花開き、娯楽産業として世界に君臨した映画——その拡がりの鍵は、それまでの非複製芸術にはない、どこへでも同一作品を流通させられるという決定的な特徴であった。なかでも最も早くかつユニバーサルに広がったアイコンと言えばやはりチャールズ（チャーリー）・チャップリンに尽きるだろう。1914年に俳優・監督としてデビューし、エッサネイ社に移籍するや「放浪者」としてのキャラクターを確立、次に破格の報酬で招かれたミュチュアル社では数々の名作短篇を生み出して、1917年頃には全地球的なスターの地位を獲得する。その間、たった3年ほどだ。その後ヒューマニティに根差した長篇喜劇に挑戦し、一作ごとに世界の問題をさらったことは誰もが知る通りである。

今回、「チャップリン・ファクトリー」で上映される3作品は、いずれもこのミュチュアル時代の短篇である。上映順は『チャップリンの移民』（1917年）、『チャップリンの放浪者』『チャップリンの舞台裏』（いずれも1916年）であるが、それらはそれぞれミュチュアル社における11作目、3作目、7作目の映画であり、製作された順序とは一致していない。そこには音楽本位の構成力が感じられ、スラップスティック度の高い『舞台裏』を最後に据えて公演全体のクライマックス作りを意図したように思われる。

無声時代の映画上映は公開当時から楽団による生演奏を伴っていたが、コメディの場合は演奏に観客を導く志向がはっきりしていたようだ。シーンの特徴に合わせた定番曲が設定される傾向があり、音楽から見れば制約の多いジャンルだったと言える。だが「チャップリン・ファクトリー」は映画に対する音楽の距離の取り方がかなり戦略的だ。音楽はシーンそれぞれの空気をつかみながらも、小さなギャグにはいちいち対応しない。それでいて『放浪者』の、追っ手の男どもをチャップリンが樹上から棒で叩きまわる瞬間をはじめとして、しばしば決定的なタイミングで音がヒットする。そのためには映画に内在する画面のリズムをあらかじめ細かく分析しなければならず、一方で時にはあえて映画から目を逸らすという冒険にも乗り出さねばならない。

1980年代以降ヨーロッパやアメリカで育ち、日本にも定着した無声映画のピアノ伴奏は、即興ではあるが映画のリズムに従属して弾くことが絶対条件になった。だから、いわば「映画の奴隷」になりかねない状況下で、ピアニストたちはその回避を模索するよりない。だが、今回の



「移民」 ©Collection Lobster Films

ircam
Centre
Pompidou



演奏をめぐって作曲家マルティン・マタロンが語った「音楽の独立性を保ちつつ、映画との友好的な関係も保持する」というポリシーは、映画産業から消えて一世紀になろうとする無声映画を再生させるための果敢な試みのように思われる。

もちろん、公開当時の伴奏音楽を再現するわけではない。かといって、いわゆる「映画音楽」的な説明性に根差すこともない（実は『放浪者』については、トーキー時代の1932年にミュチュアル期の短篇作品の権利を購入した映画会社が新たな音楽を付したサウンド版を公開したという記録がある）。無声映画再評価の流れが生み出した、現代のピアノ伴奏文化やフィルム・コンサートとも異なる。こうした音楽はどれも言わば「映画の眼から見た音楽」と呼べるだろう。

だが今回私たちが聴くことのできるの、「音楽が見つめた映画」という新しいパースペクティブに向かう演奏の実践である。ここで作曲家は、言うならば映画の「再演出家」としてフィルムの前に立ち現れる。とりわけチャップリンという無声映画の絶対的シンボルに挑んだことは、これから「無声映画と音楽」の来たるべき関係を準備するアーキタイプにもなり得るだろう。私たち暢気な映画観客以上に、当の映画作品自体がこういう時代を待っていたように思われてならない。

『彼女のアリア』

青少年を対象に、クラシック音楽と他ジャンルが協働するあらたな舞台表現を届ける「シアター・デビュー・プログラム」。その最新作は、パッハの「ゴルトベルク変奏曲」をモチーフに、不眠症の中学生・僕と虚言癖のある同級生・藤谷の交流を描く短編小説『彼女のアリア』（森絵都著）の舞台版だ。子供以上大人未満の主人公らが抱く葛藤、瑞々しい感情をどう客席と分かち合うか。演出の生田みゆきと、音楽の根本卓也、振付の中村 蓉が描くビジョンは――。

取材・文／鈴木理映子（演劇ライター）

――まずは原作小説の印象、舞台化にあたっての構想を聞かせてください。

生田 登場人物二人だけのコンパクトな物語ですが、二人が語り合う中で、世界はどんどん大きく広がっていきます。物語の中で藤谷がつく嘘が、どんどんと雪だるま式に大きくなってしまふ面白さ。と同時に思春期ならではのヒリヒリした感情のやりとりも伝わってきて、すごく愛おしいお話です。しっかりした構造を持った原作なので、それを大きく変更したりはせず、素直に創作するつもりです。そのうえで、演劇的に手を加えたとすればやはり、タイトルの『彼女のアリア』にあたる藤谷の嘘の場面をどこまで面白く見せられるかだと思っています。脚本担当の鎌田エリカさんとも話し合いながら台本作りを進めています。

――出演者を交えたワークショップなど、本格的な稽古に入る前から、さまざまな形で準備を進めているそうですね。音楽、振付については、それぞれどのような課題ややりがいを発見されましたか。

根本（登場人物の二人を結びつける）「ゴルトベルク変奏曲」は通して聴くと90分くらいで、曲数もバリエーションもある作

思春期ならではのヒリヒリした感情のやりとりも伝わってきて、すごく愛おしいお話です。



生田みゆき

演出

品です。ただ、意外なことに7割くらいは明るい曲調なんです。ですから実際にどの場面でもどの変奏を使うかは、結構工夫して考える必要がありました。ワンパターンにならないように、オリジナル曲を入れたり、ほかの作曲家の曲を入れたりとも今も試行錯誤しています。中でも難しいのは、生田さんも触れられた藤谷の嘘の場面。大掛かりな劇中劇で、音楽も新たに作るんですが、台詞や振付のリズム、スピードに合わせたフレキシビリティをどう担保するかが課題です。このシアター・デビュー・プログラムでは、生演奏の演奏会としての側面も大事にしてほしいとのオーダーもあって、あらかじめ決めた音楽に台詞や振付をはめ込むのではない、双方向的な方法を探ろうとしています。

中村 振付の視点から見ると、今回の劇中劇のような大掛かりなフィクションはとてもやりやすいんです。演劇やオペラの振付をしていると、普段ダンサーの肌感覚で進めてしまっているところを、リアリティ、ロ

ジックで説明、説得することを求められることが多い。でも今回はフィクションの割合が高いので、論理ばかりにとらわれず思いっきり弾けられる気がしています。

――俳優とダンサー、そしてピアノが紡ぎ出す音楽が、対話しながら一つの時空間を立ち上げていく。そんな多層的で豊かな舞台になりそうですね。

中村 俳優は自分の中でのリアリティをしっかりと持ちながら、少しずつ空想に飛んでいく。その重みに説得力があります。一方ダンサーは、一瞬にして虫になったりもできる。瞬発力で離陸していくようなところがある。こうした身体性の違いをわかりつつ楽しんで作っていきたいです。

根本 演奏家って、どうしても楽器が介在するので、それほど身体性を意識しないですし、よほどのファンタジーへの回路を持っていないと、何か別の物に“変身”したりできないですから、中村さんのお話には、ちょっと羨ましさを感じます。ただ、今回の

Information

10月24日(金) 19:00
25日(土) 14:00 小ホール



原作 森絵都
（『アーモンド入りチョコレートのワルツ』
（角川文庫刊）収録『彼女のアリア』
J・S・パッハ＜ゴルトベルク変奏曲＞より）

演出 生田みゆき
作編曲 根本卓也

曲目 J.S.パッハ：ゴルトベルク変奏曲
及び他の作品から選曲・抜粋

出演 藤谷：北川理恵
ぼく：久米俊輔
ダンス：中村 蓉、野口卓磨、長谷川 暢
ピアノ：森下 唯

*第2回東京音楽コンクールピアノ部門第2位

料金 S席5,500円 A席4,400円
B席2,200円
25歳以下(全席共通)2,200円
18歳以下(全席共通)1,100円

作品は、演奏者も台詞を聞いて、場合によってはちゃんと反応していかないと成立しないと思います。ピアノ演奏の森下 唯さんは、オールマイティな方ですが、ベースは演奏家。ぜひお二人で、彼を線の外側へはみ出させてほしいなと思います。

生田 そういうの大好きです(笑)。せっかく生でやるんですから、再生ボタンを押したら流れ出すっていうのとは違う、“今、一緒にいる意味”を求めていきたいですね。

中村 もともと私、自分の作品でも踊るし、言葉もしゃべるので、今回みたいにジャンルレスな作品では「やっと私の時代が来た」という感じもあるんです。根本さんとは東京二期会のプロジェクトで初めてご一緒したんですが、演劇やダンスもよく観ていて異ジャンルを繋いでくださる方だと感じていました。生田さんも文学座だけれど藝大の音楽研究科で学ばれましたし、鎌田さんは演奏活動しながら脚本も書いている。だからここに集まったのは、みんな、音楽だから、踊りだから、演劇だからという境目がない仲間なんです。

根本 一度、それまでに考えたプランをもとに台本の読み合わせをしてみたことがあるんですが、あまりにも演劇と音楽とが一体化しすぎていて、「もう少し落ち着いて、音楽を聴く時間を作りませんか」ってオーダーを東京文化会館の方からいただいたくらいですからね。

生田 いらっしゃるお客さまも、私が普段劇場で出会う方々とは少し違うと思います。



オリジナル曲を入れたり、ほかの作曲家の曲を入れたりとも今も試行錯誤しています。



根本卓也

作編曲

ついつい私は演劇のテンポでグイグイと引っ張る作り方をしがちなんですが、そこは根本さんにも頼りつつ、もう少し間を作って、観る人に委ねる時間も入れたいと思います。何かを投げかけられることによって、自分が思ってもいなかったところまで旅ができてしまうことってありますよね。藤谷だつてきっと、僕がいたからこそ、どんどん空想の世界を広げていったはず。同じようなことが、この作品を通じて客席のみさんとの間でも起こるといいなと思います。

—— 本作は「中学・高校生向け」とされ

ていますが、この年頃の観客をどう意識していますか。

生田 私たちもかつては子供だったわけですね。僕と藤谷のようにさまざまな葛藤を乗り越え、一步步大人に近づいていく、そんな時期に自分はどんなものを観たかっただろう……と考えたりします。中高生にもなると自意識も出てきて、芸術に限らず、コミュニケーションがすんなりいかないことって多いですね。何か受け取って返すまでに自分の中でグルグル考える時間が必要だったりする。そこにどう物語を届けるか。もちろんこっちから揺さぶることも必要なんですが、同時に「待つ」時間を持つことも大事だなと思います。

根本 確かに小さな子供たちとは違って、その場でダイレクトな反応は返ってこない。ただ、後で話を聞いたりすると、すごくいろいろなことを感じているし、結構容赦がなかったりする。だから、僕たちができることはやはり、子供扱いしないことです。同世代の物語という設定はあるんだから、あとは僕たちがそれぞれのジャンルの本気を出して取り組めばいいんじゃないかな。

中村 私もよくアウトリーチ活動で学校に行くんですが、やっぱり小学校高学年以上になると、恥じらいもあってなかなか動いてもらえない。そこで重要なのが「この人本気なんだ」ってことをどれくらい証明するか。そのうえで「恥じらってるのはダサイよ」って言うのと、だんだん心が開いてくれたりするんです。だから、まずは汗だくの大人を観てもらえたらいいじゃん！と思います。私たちの本気をぜひ感じてもらいたいですね。



今回はフィクションの割合が高いので、論理ばかりにとらわれず、思いっきり弾けられる気がしています。



中村 蓉

振付・ダンス

Music Program TOKYO

Workshop Workshop! 国際連携企画

東京文化会館

ミュージック・

ワークショップ

東京文化会館のワークショップで参加者をリードする重要な役割を担うワークショップ・リーダー。公演では音楽的能力だけではなく、高いコミュニケーション力や自己表現力を用いて参加者が音楽に触れる喜びをサポートする。2025年7月には豊洲文化センターにて、最先端の教育普及活動を行うポルトガルの音楽施設「カーザ・ダ・ムジカ」の講師によるワークショップ・リーダートレーニングを開催。東京文化会館ワークショップ・リーダーたちがさらなるスキルアップのためにトレーニングを受ける現場に潜入した。

取材・文/石原たきび(ライター)

東京文化会館ワークショップ・リーダートレーニングに密着

ポルトガル語で「音楽の家」という意味を持つ「カーザ・ダ・ムジカ」は先進的な音楽教育プログラムを開発・提供しており、世界中から視察団が訪れるほど注目されている。2013年からは東京文化会館とも提携し、共同でワークショップ・リーダートレーニングプログラムを実施中だ。

今回、そんな施設から派遣された6名のうち、このトレーニングの講師はパウロ・ネート、ブルーノ・エスティマ、ジョアナ・アラウジョの3名。一方の参加者は東京文化会館でワークショップ・リーダーとして活動しているメンバー達。いずれも経験豊富で実力も兼ね備えた精鋭メンバーである。

ステージの背後に窓がある開放的なホールで行われたワークショップ・リーダートレーニングは音楽を鳴らしながら輪になってぐるぐると歩くところから始まった。歩きながら、お互いに目を合わせる、ハグをする、音に合わせて手拍子を打つなどのアクションが加わる。やがて、参加者全員の声によるハーモニーが重なり、壮大な協奏曲のようなものが完成した。

印象的だったのはジョアナの「ワークショップ・リーダーは子どもたちが自身で気付かないでいる長所を見つけてあげるのが役割。同じ空間にいる子どもはみんな同じバンドの一員だってことも忘れないで」という言葉。参加者たちも深く頷いている。

トレーニングの前半が終わりに近づいたとき、ブルーノが言った。「グループに分かれて即興でパフォーマンスを作ってください。テーマは“いかに音楽を楽しむか”です」。打ち合わせ時間はたったの10分。それぞれのグループは、ときに真剣な表情で、ときに笑いながら構成を詰めている。

休憩時間にこのプログラムに何度も参加しているという東京文化会館ワークショップ・リーダーの2名に話を聞いた。

「彼らは音楽を魔法のように使う人たちで、音楽を通して人と人を繋げることに非常にプロフェッショナルな集団。ハグをするように参加者たちをまとめる深い人間性も持ち合わせています。今日の参加者たちは全員が『彼らのようにになりたい』と考えているんです」(桜井しおり)

「ポルトガルは代表的なファドも含めて、いわゆる西洋のクラシック音楽文化からちょっと離れている国。日常の中に音楽があるのが普通で、つまり彼らがやっている教育は特別な日のハレの音楽ではなく、日常の中にあるケの音楽を通してメッセージを発信しているんだと思います」(磯野恵美)

音楽を魔法のように使う。たしかに、今回のトレーニングは様々なピースが組み合わさって音楽の楽しさを体感できるものだった。また、レッスン中、打ち合わせ中、パフォーマンス中、常に笑いが絶えないのも「カーザ・ダ・ムジカ」が音楽と向き合う姿勢が伝わっていたのかもしれない。このトレーニングの成果がまさに東京文化会館のワークショップのクオリティの高さにつながっている。



[上] トレーニングでは講師の指示のもと、体全体を使って表現する様々なプログラムを体験 [中] ホワイトボードの前で歌の内容について説明するジョアナ [下] レッソンの最後は3つのグループに分かれて、オリジナルのパフォーマンスを発表。打ち合わせのために与えられた時間は10分しかない

ミュージック・ワークショップ・フェスタ〈冬〉

東京文化会館はポルトガルの音楽施設「カーザ・ダ・ムジカ」と提携し、様々なワークショップを開催しています。



フェスタの詳細はこちら



～0歳から大人まで～ 見つけよう、音楽で広がる新しい世界

「東京文化会館ミュージック・ワークショップ」は、「音楽の素晴らしさをもっと気軽に、一人でも多くの方に味わってほしい！」
 そのような思いから生まれました。
 毎年夏と冬に開催される「ミュージック・ワークショップ・フェスタ」では、ポルトガルの音楽施設「カーザ・ダ・ムジカ」のメンバーが来日し、楽しい音楽ワークショップをお届けします！

日程 12月3日(水)～7日(日)



NEW

「ミュージック・ワークショップ・フェスタ〈冬〉」では「東京文化会館オリジナル・ワークショップ(新制作)」を開催!

様々な楽器や歌、お話でワークショップの進行役を務める「ワークショップ・リーダー」の育成プログラムの受講生たちが、約4か月かけて創り上げたまったく新しいワークショップ。今回初めてお客様の前で披露します! これまでに東京文化会館ミュージック・ワークショップに参加したことのある人もない人も、生まれたてのワークショップをぜひ体験してみてくださいね!

全12演目のうちの二部をご紹介します!



「One Day コーラス」

12月5日(金) 11:00～12:30

歌が好きな人、集まれ! 必要なのは歌いたい気持ちだけ。あなたも是非1日合唱隊の一員に!

対象 小学生～大人(65歳以上無料招待)

会場 東京文化会館 小ホール

NEW



2024年「はじめましてクラシック～フルート～」公演より

「はじめましてクラシック～ピアノ～」

12月4日(木) 14:30～15:15

見て・聴いて・体験する参加型コンサート

対象 6か月～6歳(未就学児)

会場 東京文化会館 小ホール



他にも対象年齢別に通年でさまざまなワークショップを開催! 詳しくはこちらをご覧ください。

NEW



2022年「クラシックであそぼう!」公演より

ワークショップ・コンサート「クラシックであそぼう!」

12月7日(日) 14:30～15:30

カーザ・ダ・ムジカのワークショップ・リーダーによる、観客参加型のワークショップ・コンサート

対象 3歳～大人

会場 東京文化会館 小ホール

会館からのお知らせ

まちなかで気軽に楽しむクラシック♪

まちなかコンサート

～芸術の秋、音楽さんぽ～

東京音楽コンクール入賞者を中心とした
アーティスト達の若さ溢れる演奏を、
コンサートホールとは
一味違った空間でお楽しみください



料金：無料（★の会場では施設への入館料/入園料が必要となります）

※やむを得ない事情により、内容を変更または中止する場合がございますので予めご了承ください。

2024年度の
まちなかコンサートより



江戸東京
たてももの園
(子宝湯)
国立科学博物館
(日本館
1階中央ホール)

- 東京文化会館 (キャノピー) ※雨天中止
ソプラノ & メゾソプラノ & テノール
9月6日(土) 10:30～11:00 / 11:30～12:00
- 東京都美術館 (1階 佐藤慶太郎記念 アートラウンジ)
弦楽四重奏 9月27日(土) 14:00～14:30 / 15:00～15:30
- 国立国会図書館国際子ども図書館 (レンガ棟 3階ホール)
金管五重奏 9月28日(日) 13:00～13:40 / 15:00～15:40
- 国立西洋美術館 (本館1階ロビー)
ソプラノ & バリトン 10月3日(金) 14:00～14:20 / 18:00～18:20
- 旧岩崎邸庭園 (洋館1階ベランダ) ★ ※雨天時館内
フルート・弦楽アンサンブル
10月4日(土) 13:00～13:30 / 15:00～15:30
- 国立科学博物館 (日本館2階講堂) ★
弦楽五重奏 10月5日(日) 13:30～13:50 / 15:00～15:20
- 東京文化会館 (キャノピー) ※雨天中止
トロンボーン四重奏 10月13日(月・祝) 10:30～10:50 / 11:30～11:50
- 江戸東京たてももの園 (子宝湯)
ホルン四重奏 10月18日(土) 10:40～11:00 / 11:50～12:10
チェロ二重奏 10月18日(土) 13:40～14:00 / 14:50～15:10
オーボエ三重奏 10月19日(日) 10:40～11:00 / 11:50～12:10
トランペット四重奏 10月19日(日) 13:40～14:00 / 14:50～15:10
- 東京国立博物館 (平成館1階ラウンジ) ★
木管五重奏 10月26日(日) 14:00～14:20 / 15:00～15:20
- 旧吉田屋酒店 (台東区立したまみミュージアム付設展示場) ※雨天中止
金管五重奏 11月1日(土) 13:00～13:20 / 14:00～14:20

舞響詩「田園」

踊る鳥の詩

自然をこよなく愛したベートーヴェン。彼が見つけた交響曲第6番「田園」からインスピレーションを受けて、新しい舞台作品ができました。応募によって集まった小学生から高校生までの参加者達が夏から稽古を重ね、デフダンサー、ろう詩人、ろう俳優、打楽器奏者、東京文化会館ワークショップ・リーダーなど、多方面で活躍しているアーティストと一緒に舞台作品に出演します。



ダンスチーム
農民たちの踊りをみんな
で考えて、表現します。

打楽器チーム

自然の中にはどんなリズム
がある？ 身体や楽器を使っ
て風・雨などを表現します。



てことばチーム

自然から感じるイメージ、鳥
のすがた、風のおい、空の
ひかりを、手話をベースにし
た「てことば」で表します。



「はじめまして」で
みんな
緊張気味

素敵な舞台を
つくっていきましょう！



これから気持ちを
ひとつに
していきましょう！

11月23日(日・祝)

国立オリンピック記念青少年総合センター
カルチャー棟 小ホール

観覧：無料 ※申込み方法は後日発表予定

出演 企画・構成・演出：桜井しおり、野口綾子
(東京文化会館ワークショップ・リーダー)
デフダンサー：MAHO、YUTO
ろう詩人：Sasa-Marie
パーカッショニスト / CODA：藤井 健
パーカッショニスト：齋藤綾乃
(東京文化会館ワークショップ・リーダー)
サクソフーン：宮橋菜穂
(東京文化会館ワークショップ・リーダー)
ワークショップ参加の皆さん



MUSIC LIBRARY

音楽資料室より

音楽資料室は、東京文化会館4階にある音楽専門の図書館です。クラシック音楽を中心とした資料や東京文化会館公演プログラムを所蔵しており、無料で閲覧できます。



◀ 利用案内はこちら

フェスティヴァル・ランタンポレル特集

今号では、今秋の主催事業「フェスティヴァル・ランタンポレル」のキーパーソンとなる作曲家「ジョージ・ベンジャミン」に関連した所蔵資料を紹介します。

Pick Up George BENJAMIN



紹介した
雑誌・図書

《雑誌記事》

- 『音楽芸術』1996年10月号 pp.85-89
- 『レコード芸術』2003年5月号 pp.212-215

過去に来日した際のインタビュー記事などが掲載されており、ベンジャミンの人物像が見えてきます。

《図書》

『クラシック作曲家大全：より深く楽しむために』（日東書院本社，2013）

中世〜ルネサンス期から現代まで、クラシック音楽の歴史を網羅したガイドブック。ベンジャミンをはじめ、現存する作曲家も数多く掲載されています。

ベンジャミンの作品は、これまでも東京文化会館で演奏されています。過去の公演プログラムは、音楽資料室でご覧いただけます。



東京都交響楽団 主催公演のご案内



第1030回定期演奏会Aシリーズ

都響におけるショスタコーヴィチ没後50年記念プログラムの掉尾を飾るのは、小泉和裕が指揮する交響曲第10番です。スターリンの死の直後に発表され、自身の名前を象徴するDSCH音型の駆使をはじめ、数多くの暗喩やメッセージが織り込まれているとされるドラマティックな名曲に、小泉が満を持して向き合います。小泉の信頼も厚い三浦文彰独奏によるチャイコフスキーの華麗なヴァイオリン協奏曲とのコンビネーションや対比も含めて、都響の機能を全開にした音の奔流に包まれてください。



小泉和裕 © 畑田力丸
三浦文彰 © Yuji Hori

Information

2025年12月18日(木) 19:00開演 (18:00開場)

場所 東京文化会館

出演 指揮/小泉和裕 ヴァイオリン/三浦文彰

曲目 チャイコフスキー：ヴァイオリン協奏曲 二長調 op.35
ショスタコーヴィチ：交響曲第10番 ホ短調 op.93

料金 S席 ¥7,500 A席 ¥6,500 B席 ¥5,500
C席 ¥4,500 Ex席 ¥3,200 ※S~C席各種割引あり

ご予約・お問い合わせ

都響ガイド(月-金：10時~18時/土日祝休み)
0570-056-057

※主催公演開催日等は休業または営業時間が変更となります。

都響WEBチケット
<https://www.tmsso.or.jp>

※インターネットで席を選んで購入できます。

都響スペシャル「第九」



サッシャ・ゲッツェル © Ozge Balkan
森谷真理 © FUKAYA Yoshinobu auraY2
小林由佳 © TAKUMI JUN キム
チャールズ・キム © Rikimaru Hotta
加未 徹 © Hiroki Watanabe

Information

2025年12月25日(木) 19:00開演 (18:00開場)

場所 東京文化会館

出演 指揮/サッシャ・ゲッツェル ソプラノ/森谷真理
メゾソプラノ/小林由佳 テノール/チャールズ・キム
バリトン/加未 徹 合唱/新国立劇場合唱団

曲目 ベートーヴェン：交響曲第9番 二短調 op.125《合唱付》

料金 S席 ¥9,500 A席 ¥8,500 B席 ¥7,500
C席 ¥6,500 Ex席 ¥4,500 ※S~C席各種割引あり

公演中止及び出演者・曲目等が変更になる場合があります。最新の情報は都響ホームページをご確認ください。

5
目
14:00
7
日
15:00
9
月
18:00
11
日
14:00
12
日
14:00

ウィーン国立歌劇場 2025年日本公演
『フィガロの結婚』

【演目】モーツァルト：歌劇『フィガロの結婚』全4幕
【演出】バリール・コスキー
【指揮】ベルトラン・ド・ピリー
【出演】アルマヴィーヴァ伯爵：アンドレ・シュエン
アルマヴィーヴァ伯爵夫人：ハンナ＝エリザベット・ミュラー
スザンナ：イン・ファン
フィガロ：リッカルド・ファッシ 他
【管弦楽】ウィーン国立歌劇場管弦楽団
(コンサートマスター：ライナー・ホーネック)
【合唱】ウィーン国立歌劇場合唱団
【料金】【平日】
S79,000 A69,000 B55,000 C44,000 D36,000
E26,000 サポーター席：129,000(寄付金付きのS席)
【土日】
S82,000 A72,000 B58,000 C47,000 D39,000
E29,000 サポーター席：132,000(寄付金付きのS席)
ⓂNBSチケットセンター 03-3791-8888



©Wiener Staatsoper / Michael Poehn

ウィーン国立歌劇場 2025年日本公演
『ばらの騎士』

【演目】R. シュトラウス：歌劇『ばらの騎士』全3幕
【演出】オットー・シェンク
【指揮】フィリップ・ジョルダン
【出演】陸軍元帥ヴェルテンバルク侯爵夫人(マルシャリン)：
カミラ・ニールンド
オックス男爵：ピーター・ローズ
オクタヴィアン：サマンサ・ハンキー
ゾフィー：カタリナ・コンラディ 他
【管弦楽】ウィーン国立歌劇場管弦楽団
ウィーン国立歌劇場舞台上オーケストラ
(コンサートマスター：ライナー・ホーネック、アルベナ・ダナイロヴァ)
【合唱】ウィーン国立歌劇場合唱団
【料金】【平日】
S79,000 A69,000 B55,000 C44,000 D36,000
E26,000 サポーター席：129,000(寄付金付きのS席)
【土日】
S82,000 A72,000 B58,000 C47,000 D39,000
E29,000 サポーター席：132,000(寄付金付きのS席)
ⓂNBSチケットセンター 03-3791-8888



©Wiener Staatsoper / Michael Poehn

東京文化会館チケットサービスのご案内

当館で開催される、オペラ、バレエ、クラシックコンサート等のチケットを多数取り揃えております。窓口、お電話の他、webでもご購入いただけます。ぜひご利用ください。

営業時間 10:00~19:00(窓口)、10:00~18:00(電話)

TEL 03-5685-0650

WEB t-bunka.jp/tickets/

休業日 9月1日(月)・2日(火)
10月28日(火)・29日(水)
11月4日(火)・5日(水)
12月1日(月)・2日(火)・29日(月)・30日(火)



◎掲載情報は2025年8月12日現在のものです。
◎主催者等の都合により、公演内容が変更になる場合があります。
また、公演によっては全席種のチケットをご用意できない場合もあります。
詳しくは各主催者にお問合せください。

アルト(A)/アコーディオン(Ac)/アルトサクス(A-Sax)/ベース(Ba)/バンドネオン(Bn)/バリトン(Br)/バリトンサクス(Br-Sax)/バス(Bs)/バスバリトン(Bs-Br)/バスクラリネット(Bs-Cl)/バス・オーボエ(Bs-Ob)/バロックヴァイオリン(B.Vn)/コントラバス(Cb)/児童合唱(C-Cho)/チェンバロ(Cem)/コーラス(Cho)/クラリネット(Cl)/作曲(Comp)/指揮(Cond)/コルネット(Cort)/カウンターテナー(CT)/ドラムス(Ds)/イングリッシュ・ホルン(E-Hr)/ユーフォニアム(Eu)/女声合唱(F-Cho)/ファゴット(Fg)/フルート(Fl)/フラウト・トラヴェルソ(Fl.trv)/フォルテピアノ(Fp)/ギター(Gt)/ハーモニカ(Hmc)/ハーブ(Hp)/ハーブシコード(Hpd)/ホルン(Hr)/キーボード(Key)/リュート(Lu)/マンドラ(Ma)/マリンバ(Mar)/メゾソプラノ(Ms)/オーボエ(Ob)/オーボエ・ダモーレ(Ob-d'am)/オルガン(Og)/パーカッション(Pc)/ピアノ(Pf)/ピッコロ(Picc)/リコーダー(Rec)/ソプラノ(S)/サクス(Sax)/ソプラノサクス(S-Sax)/シンセサイザー(Syn)/テノール(T)/トロンボーン(Tb)/ティンパニ(Tim)/トランペット(Tp)/テナーサクス(T-Sax)/チューバ(Tu)/ヴァイオラ(Va)/チェロ(Vc)/ヴィブラフォン(Vib)/ヴァイオリン(Vn)/ヴォーカル(Vo)

1
水
15:45

**第20回「邦楽器とともに」
—20周年記念 Part II—**

【出演】青山恵子(Ms) 田中雅史(Br) 田辺頌山(尺八) 木田敦子(箏) 樹の会(Cho) 他
【曲目】松尾芭蕉の紀行を聴こう! 他
【料金】自由5,000 学生2,000
☎日本歌曲協会 03-6421-2105

2
木
18:30

**熊本マリの夜会
～スペインの熱い夜 情熱のリズム～**

【出演】熊本マリ(Pf) 山本将光(バルマ・Pc) 山本 涼(バルマ・Pc) 【曲目】ファリア:オペラ『はかなき人生』第2幕より「スペイン舞曲第1番」他 【料金】指定6,000
☎プロアルテムジケ 03-3943-6677

3
金
19:00

**會田瑞樹 パーカッション・リサイタル
2025**

【出演】會田瑞樹(Pc) 岩見玲奈(Pc) 河村絢音(Vn) 中川俊郎(Pf) 【曲目】八村義夫:星辰譜 他 【料金】自由3,000
☎會田瑞樹公演事務局 080-6008-1297

4
土
14:00

**Kitri (キトリ) 名曲カヴァーコンサート
Re:cover vol.3**

【曲目】木枯らしに抱かれて 他
【料金】指定5,800
☎Ro-Onチケット 047-365-9960

5
日
14:00

梯 剛之 ピアノ・リサイタル 2025

【曲目】J.S.バッハ:イタリア協奏曲 他
【料金】指定5,000 ペア4,500 学生3,500
☎ソナーレ・アートオフィス 03-5754-3102

6
月
18:45

**日本モーツァルト協会 第672回例会
～ウィーン国立歌劇場の室内楽Ⅲ～**

【出演】ライナー・ホーネック(Vn) クリスティアン・フローン(Va) タマーシュ・ヴァルガ(Vc) 【曲目】モーツァルト:ディヴェルティメント 変ホ長調 K563 他
【料金】自由5,000 学生2,000
☎日本モーツァルト協会 03-5467-0626

7
火
13:00

**アンサンブルとトークで贈る
ウィーン国立歌劇場への誘い**

【出演】ライナー・ホーネック(Vc) クリスティアン・フローン(Va) タマーシュ・ヴァルガ(Vc) ボグダン・ロシッチ(ウィーン国立歌劇場総裁) 【曲目】モーツァルト:弦楽三重奏のためのディヴェルティメント K563より抜粋
【料金】指定3,500
☎NBSチケットセンター 03-3791-8888

8
水
19:00

**新進演奏家育成プロジェクトリサイタル・
シリーズTOKYO145
古石亞弓 ソプラノ・リサイタル**

【出演】古石亞弓(S) 佐藤文雄(Pf) 【曲目】ブッチーニ:オペラ『蝶々夫人』より「ある晴れた日に」 他 【料金】自由2,500
☎日本演奏連盟 03-3539-5131

9
木
11:00

主催公演

**上野 de クラシック Vol.111
福島莉那 (トロンボーン)**

【曲目】ウェーバー:ロマンス 他
【料金】指定1,100

9
木
19:00

**中村太地 (Vn) × 佐藤卓史 (Pf)
CD発売記念 デュオコンサート**

【曲目】シューマン:ヴァイオリン・ソナタ第2番 他 【料金】自由5,000 (当日5,500)
☎プロアルテムジケ 03-3943-6677

10
金
11:00

主催公演

**創遊・楽落らいぶ Vol.78
—音楽家と落語家のコラボレーション—**

【出演】春風亭柳好(落語) 寺嶋民哉(Comp/編曲) 野沢音苗(二胡/S) 古垣未来(Pf) 【内容】第1部:ミニコンサート 第2部:落語と音楽のコラボレーション「佃祭」
【料金】指定1,100

19:00

**松田理奈
無伴奏ヴァイオリン・リサイタル**

【曲目】J.S.バッハ:無伴奏ヴァイオリン・パルティータ第2番 他 【料金】指定6,600
☎サンライズプロモーション東京 0570-00-3337

11
土
13:30

**小原 孝 ピアノ・コンサート2025
～BEST OF BEST～
デビュー 35周年 vol.2
デビュー 50周年 タケカワユキヒデさん
(ゴダイゴ) をお迎えして**

【出演】小原 孝(Pf) タケカワユキヒデ(Vo) 【曲目】逢えてよかったね 他
【料金】指定6,800
☎東京音協 <https://t-onkyo.co.jp/>

12
日
14:00

**東京音楽コンクール入賞者リサイタル
大崎由貴ピアノ・リサイタル**

【曲目】シューマン:クライスレリアーナ Op.16 他 【料金】自由4,000 学生3,000
☎大崎由貴ピアノリサイタル実行委員会 yukiosakipianist@gmail.com

13
月・祝
14:00

高木凜々子 ヴァイオリン・リサイタル

【出演】高木凜々子(Vn) 三又瑛子(Pf) 【曲目】シューベルト:ヴァイオリン・ソナチネ第2番 他 【料金】指定5,000
☎オフィス飄雅 03-5778-5288

14
火
19:00

**～メンデルスゾーン ピアノ三重奏曲第1番&第
2番:CD発売記念～
トリオ・アコード**

【出演】白井 圭(Vn) 門脇大樹(Vc) 津田裕也(Pf) 【曲目】メンデルスゾーン:ピアノ三重奏曲第1番、第2番 他 【料金】S5,000 A4,000 25歳以下、65歳以上3,000
☎チケットスペース 03-3234-9999

15
水
19:00

主催公演

**プラチナ・シリーズ第2回
ルチアーノ・ガンチ(テノール)
～輝かしきイタリアン・テノール～**

【出演】ルチアーノ・ガンチ(T) 浅野菜生子(Pf) 【曲目】ヴェルディ:オペラ『海賊』より「全てが微笑んでいるようだった～そうだ、海賊の稲妻を」 他 【料金】S5,500 A4,400 B2,750 25歳以下(全席共通) 1,100

16
木
14:00

今井俊輔 バリトン・リサイタル 2025

【出演】今井俊輔(Br) 濱野基行(Pf) 宮地江奈(S) 【曲目】ヴェルディ:オペラ『椿姫』より第2幕「プロヴァンスの海と陸」 他
【料金】指定6,000 (当日6,500)
☎ウード音楽事務所 03-3402-5999

17
金
19:00

**ヴェロニカ・エーベルレ (Vn)
&三浦謙司 (Pf) デュオ・リサイタル**

【曲目】ベートーヴェン:ヴァイオリン・ソナタ第9番「クロイツェル」 他
【料金】S6,000 A5,000 U-25:3,000
☎チケットスペース 03-3234-9999

18
土
13:30

**スペシャルオリンピックス
日本・東京/長野/静岡
三都市支援のためのチャリティーコンサート
響きあう晩秋の音物語2**

【出演】水谷川優子(Vc) チャールズ・ナイディック(Cl) ロバート・レヴィン(Pf) 【曲目】ベートーヴェン:ピアノ三重奏曲第4番「街の歌」(クラリネット、チェロとピアノ版) 他
【料金】S6,000 A5,000
☎三都市支援のためのチャリティーコンサート実行委員会 090-5410-9987

19
日
14:00

ラ・ルーチェ弦楽八重奏団 vol.10

【曲目】メンデルスゾーン:弦楽八重奏曲 他
【料金】指定4,000
☎AMATI 03-3560-3010

24
金
19:00

主催公演 関連情報P8-9

**シアター・デビュー・プログラム
『彼女のアリア』**

【演出】生田みゆき 【作編曲】根本卓也
【出演】北川理恵(俳優)、久米俊輔(俳優)、中村 蓉(振付/ダンス) 野口卓磨(ダンス) 長谷川 暢(ダンス) 森下 唯(Pf)
【曲目】J.S.バッハ:ゴルトベルク変奏曲及び他の作品から選曲・抜粋
【料金】S5,500 A4,400 B2,200 25歳以下(全席共通)2,200 18歳以下(全席共通)1,100

25
土
14:00

26
日
14:00

**The Road to 2027
仲道郁代 ピアノ・リサイタル
ラヴェルの狂気**

【曲目】ラヴェル:夜のガスパール 他
【料金】S7,000 A6,000
☎ジャパン・アーツびあ 0570-00-1212

27
月
19:00

**新進演奏家育成プロジェクトリサイタル・
シリーズTOKYO146
小塩真愛 ピアノ・リサイタル**

【曲目】ショパン:ピアノ・ソナタ第3番 他
【料金】自由2,500
☎日本演奏連盟 03-3539-5131

30
木
19:00

**第157回アンサンブル of トウキョウ
定期演奏会**

【出演】小林美恵(Vn) 玉井菜採(Vn) 田原綾子(Va) 羽川真介(Vc) 【曲目】シェーンベルク:弦楽六重奏曲「浄められた夜」 他
【料金】S5,000 A4,500 B4,000 学生3,500
☎アンサンブル of トウキョウ事務局 045-595-0223

31
金
19:00

**東京ハルモニア室内オーケストラ
第71回定期演奏会**

【出演】百武由紀(Va) 有馬玲子(Vn) 山下真澄(Vn) 他
【曲目】フンメル:ヴィオラとオーケストラのためのポプリ 他 【料金】指定4,500
☎東京ハルモニア室内オーケストラ事務局 090-1260-2934

2
日
14:00

東京バレエ団『ラ・シルフィード』

[演目] バレエ『ラ・シルフィード』全2幕
[振付] ピエール・ラコト
(フィリッポ・タリオニ原案による)
[音楽] ジャン＝マドレーヌ・
シュナイツホーファー
[出演] 東京バレエ団
[管弦楽] シアター オーケストラ トウキョウ
[料金] S15,000 A12,000 B9,000
C7,000 D5,000 E3,000
㊟NBSチケットセンター 03-3791-8888



©Kiyonori Hasegawa

6
木
14:00

キーウ・クラシック・バレエ
チャイコフスキー
夢の3大バレエ名場面集

[演目] 『くるみ割り人形』『白鳥の湖』
『眠れる森の美女』より
[出演] キーウ・クラシック・バレエ
※特別録音による音源
[料金] 指定5,500
㊟インプレサリオ東京チケットセンター
03-6264-4221



©丸山英樹/エムズフォト

18:30

キーウ・クラシック・バレエ
『白鳥の湖』全2幕

[演目] 『白鳥の湖』
[音楽] チャイコフスキー
[出演] キーウ・クラシック・バレエ
※特別録音による音源
[料金] 指定5,500
㊟インプレサリオ東京チケットセンター
03-6264-4221



9
日
11:00

主催公演

東京文化会館
バックステージツアー
《建築編》

[料金] 参加費1,100



13:00

主催公演

東京文化会館 手話でバックステージツアー!

[参加費] 無料

11
火
18:30

ジェイコブ・コーラー ピアノ コンサート

[出演] ジェイコブ・コーラー (Pf)
[曲目] 坂本龍一: 戦場のメリークリスマス
滝 廉太郎: 荒城の月 他
[料金] S6,000 A5,500 B5,000 C4,500
㊟MIN-ON インフォメーションセンター 03-3226-9999

12
水
19:00

ららら♪プレミアムコンサートvol.2 Duo Fest.
~ Beyond Classics ~

[出演] DOS DEL FIDDLES (ドス・デル・フィドル) with SENOO
石田泰尚 (Vn) 崎谷直人 (Vn) × 妹尾 武 (Pf)
MIZUTANI × TAIRIK
水谷 晃 (Vn) × TAIRIK (Vn) (Va)
NARITA × LEO
成田達輝 (Vn) × LEO (箏)
SATO × KOBAYASHI
佐藤晴真 (Vo) × 小林海都 (Pf)
[料金] S7,800 A6,800 B5,800
㊟ウード音楽事務所
03-3402-5999 (月・水・金 12:00~15:00)



18
木
13:00

東京バレエ団『ドン・キホーテ』

[演目] バレエ『ドン・キホーテ』全2幕
[振付] ウラジーミル・ワシーリエフ
(マリウス・プティパノアレクサンドル・ゴールスキーによる)
[音楽] レオン・ミンクス
[出演] 東京バレエ団、キム・キミン (ゲスト)
[管弦楽] 東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団
[料金] S15,000 A12,000 B9,000
C7,000 D5,000 E3,000
㊟NBSチケットセンター 03-3791-8888

19
金
19:00

20
土
19:00

21
日
19:00

22
月
14:00

23
火・祝
14:00

24
水・休
14:00



©Shoko Matsuhashi

29
土
15:00

TOKYO FORWARD 2025 文化プログラム
ろう者と聴者が遭遇する舞台作品
「黙るな 動け 呼吸しろ」

[総合監修] 日比野克彦
[構成・演出] 牧原依里
[演出・出演] 島地保武
[料金] 入場無料 (要予約)
㊟「黙るな 動け 呼吸しろ」
公演事務局
03-6453-8130
(平日 10:00~18:00)



©日比野克彦

1
日
14:00

主催公演

3歳からの楽しいクラシック

[出演] 白石光隆 (Pf) 吉田智就 (Hr) 伊藤雄太 (Tb) [曲目] ビゼー：オペラ『カルメン』より前奏曲 他 [料金] 指定1,100 3~6歳(未就学児)550

2
日
14:00

大萩康司 デビュー 25th コンサート「原点回帰」
レオ・ブローウェル室内楽曲集

[出演] 大萩康司 (Gt) 松尾俊介 (Gt) 波多野睦美 (Vo) 他 [曲目] 11月のある日 他 [料金] 指定5,000
東京音協 <https://t-onkyo.co.jp/>

3
月・祝
14:00

日本テレマン協会 第320回定期演奏会

[出演] 延原武春 (Cond) 高田泰治 (Cem) 浅井咲乃 (Vn) テレマン室内オーケストラ [曲目] J.S. バッハ：ブランデンブルク協奏曲 全曲 [料金] 自由4,000 25歳以下1,000
日本テレマン協会 06-6345-1046

8
日
15:00

主催公演

TOKYOスマート・カルチャー・プロジェクト
Visual Harmony for All
~クラシック音楽とデジタルアートが織りなす、新たな芸術体験~

[出演] 角野未来 (Pf) 黒沼香恋 (Pf) 伊原小百合、坂本夏樹 (東京文化会館ワークショップ・リーダー)、齋藤綾乃 (打楽器) 奈苗 (ろう日本手話) Sasa-Marie (ろう国際手話) [曲目] ラヴェル：ボレロ 他 [料金] 指定550

フェスティバル・ランタンポレル

13
木
19:00

主催公演 関連情報 P2-5

Talk & Lesson
フェスティバル・ランタンポレル
トークセッション

[出演] マルティン・マタロン、アントニー・ミエ、フランク・マドレーネ、スザンヌ・ベルティ、野平一郎 他 [料金] 指定1,650 25歳以下1,100

14
金
19:00

主催公演 関連情報 P2-5、P7

舞台芸術創造事業
IRCAMシネマ
「チャップリン・ファクトリー」
~現代音楽と無声映画の
コラボレーション~

[上映映画] 「放浪者」「舞台裏」「移民」
[出演] Trio K/D/M (トリオ・カデム/アントニー・ミエ、エミル・クイヨムクイヤン、ギ・フリッシュ) 砂田愛梨 (S) 西川智也 (Cl) 高木慶太 (Vc) 高瀬新太郎 (Tb) 他 [料金] 指定3,300 25歳以下1,100

15
土
18:00

主催公演 関連情報 P2-5

プラチナ・シリーズ第3回
Trio K/D/M (トリオ・カデム)
~アコーディオン&パーカッション
アンサンブル~

[出演] アントニー・ミエ (Ac) エミル・クイヨムクイヤン (Pc) ギ・フリッシュ (Pc) [曲目] マルティン・マタロン：KDMフラグメンツ アコーディオンと2つの打楽器とエレクトロニクスのための 他 [料金] S4,400 A3,300 B2,200 25歳以下(全席共通) 1,100

16
日
15:00

主催公演 関連情報 P2-6

新進音楽家の国際キャリアアップ支援
キャロル・ロト＝ドファン (ヴァイオリン) &
東京文化会館チェンバーオーケストラ・
メンバー～モーツァルト&ベンジャミン～

[出演] キャロル・ロト＝ドファン (Va) 東京文化会館チェンバーオーケストラ・メンバー [曲目] ジョージ・ベンジャミン：沈黙にメゾソプラノと7つの弦楽器のための 他 [料金] S4,400 A3,300 B2,200 25歳以下(全席共通) 1,100

17
月
19:00

主催公演 関連情報 P2-6

シャイニング・シリーズ Vol.19
福岡洗太郎ピアノ・リサイタル
～モーツァルト&ベンジャミン～

[出演] 福岡洗太郎 (Pf) [曲目] モーツァルト：ピアノ・ソナタ第12番 へ長調 K332 他 [料金] 指定3,300 25歳以下1,100

18
火
19:00

新進演奏家育成プロジェクトリサイタル・
シリーズ TOKYO147
日置ひと美 ピアノ・リサイタル

[曲目] シューマン：8つのノヴェレッテン 他 [料金] 自由2,500
日本演奏連盟 03-3539-5131

19
水
11:00

主催公演

上野 de クラシック Vol.112
砂田愛梨 (ソプラノ)

[曲目] グノー：オペラ『ロメオとジュリエット』より「私は夢に生きたい」 他 [料金] 指定1,100

18:45

日本モーツァルト協会 第673回例会
父と息子～ふたりのモーツァルト

[出演] 葵トリオ (秋元孝介 (Pf) 小川響子 (Vn) 伊東 裕 (Vc)) 川本嘉子 (Va) [曲目] モーツァルト：ピアノ四重奏曲 変ホ長調 K493 他 [料金] 自由5,000 学生2,000
日本モーツァルト協会 03-5467-0626

20
木
19:00

ドミトロ・ウドヴィチエンコ (Vn) &
ミカエル・ロボネン (Pf) コンサート

[曲目] プラームス：ヴァイオリン・ソナタ第1番「雨の歌」 他 [料金] 自由4,000
MCSヤングアーティストズ 080-3154-9880

21
金
15:00

菅原洋一 コンサート2025
~昭和100年、92才の私からあなたへ~

[出演] 菅原洋一 (Vo) 菅原英介 (Vo) 大貫祐一郎 (Pf) 坂上 頌 (Fl) 渡邊雅弦 (Vc) [曲目] 知りたくないの 他 [料金] 指定7,000
Ro-Onチケット 047-365-9960

22
土
11:00

主催公演

東京文化会館ミュージック・ワークショップ
はじめましてクラシック～弦楽四重奏～

[出演] 坂本夏樹、岸本萌乃加 (Vn) 登坂理利子 (Vn) 正田響子 (Va) 蟹江慶行 (Vc) [料金] 指定550

14:30

主催公演

東京文化会館ミュージック・ワークショップ
One Day コーラス

[出演] 磯野恵美、伊原小百合、島津健一、塚本江里子 [料金] 550

23
日・祝
14:00

主催公演

上野 de クラシック Vol.113
今田 篤・西村翔太郎・中島英寿・藤平実
来 (ピアノ)

[曲目] ラフマニノフ：楽興の時 Op.16 他 [料金] 指定2,200

24
月・休
14:00

びわ湖ホール声楽アンサンブル
東京公演 vol.16
モーツァルト作曲「レクイエム」

[出演] 阪 哲朗 (Cond) 小倉里恵 (エレクトーン) びわ湖ホール声楽アンサンブル (Cho) [曲目] モーツァルト：レクイエム 他 [料金] 指定4,400 青少年 (24歳以下) 2,750
びわ湖ホールチケットセンター
077-523-7136 10:00~19:00/火曜休

30
日
19:00

岡田博美 ピアノ・リサイタル 2025

[料金] S5,000 A4,000 B2,000
カメラータ・トウキョウ 03-5790-5560

3
木
18:30

キーウ・グランド・バレエ・シアター
『眠れる森の美女』全幕

[出演] キーウ・グランド・バレエ・シアター ※特別録音による音源
[料金] 指定5,500
Ⓞインプレサリオ東京チケットセンター 03-6264-4221

4
木
14:00
18:30

キーウ・グランド・バレエ・シアター
『くるみ割り人形』全幕

[出演] キーウ・グランド・バレエ・シアター ※特別録音による音源
[料金] 指定5,500
Ⓞインプレサリオ東京チケットセンター 03-6264-4221

5
金
19:00

警視庁音楽隊グランドコンサート at Xmas

[出演] 警視庁音楽隊 カラーガード"MEC"
[料金] 指定無料(主催者へ要事前申込み)
Ⓞ警視庁音楽隊
https://www.keishicho.metro.tokyo.lg.jp/about_mpd/shokai/katsudo/ongaku/index.html

6
土
14:00

東京労音第135回「第九」演奏会 合唱付

[指揮] 浮ヶ谷孝夫
[出演] 秋津 緑(S) 鳥谷尚子(Ms) 田中裕太(T) 伊藤尚人(Br)
[管弦楽] 東京21世紀管弦楽団
[料金] S7,500 A6,500 B5,500 C5,000
ⓄRo-Onチケット 047-365-9960

11
木
19:00

13
土
12:30
17:30

東京バレエ団『くるみ割り人形』

[演目] バレエ『くるみ割り人形』
[台本] マリウス・プティパ
[改定演出・振付] 斎藤友佳理
[音楽] ピョートル・チャイコフスキー
[出演] 東京バレエ団
[料金] S15,000 A12,000 B9,000
C7,000 D5,000 E3,000
ⓄNBSチケットセンター 03-3791-8888

12
金
12:30
18:30

14
日
14:00

15
月
14:00

クリスマス／アヴェ・マリア
エリザベート弦楽アンサンブル

[出演] エリザベート弦楽アンサンブル
エディット・ドゥリュスラー(S) アンナ・ヴォレント(S)
[曲目] J.S.バッハ(グノー)、シューベルト、カッチーニ:
アヴェ・マリア 他
[料金] 指定5,800
Ⓞ光藍社チケットセンター 050-3776-6184
(12:00~15:00<土日祝日を除く>)

16
火
19:00

早稲田大学交響楽団第217回定期演奏会

[指揮] 尾高忠明 [出演] 清水和音(Pf)
[演奏] 早稲田大学交響楽団
[曲目] チャイコフスキー:交響曲第6番 ロ短調 Op.74「悲愴」 他
[料金] S2,500 A2,000 B1,500
Ⓞ早稲田大学交響楽団 concert.information@wso-tokyo.jp

18
木
19:00

関連情報 P13

東京都交響楽団第1030回定期演奏会

[指揮] 小泉和裕 [出演] 三浦文彰(Vn)
[曲目] ショスタコーヴィチ:交響曲第10番 ホ短調 Op.93 他
[料金] S7,500 A6,500 B5,500 C4,500 Ex3,200
Ⓞ都響ガイド 0570-056-057

20
土
11:00
15:00

松山バレエ団子ども『くるみ割り人形』劇場

[演目] バレエ『くるみ割り人形』
[台本・構成・演出・振付] 清水哲太郎
[音楽] ピョートル・チャイコフスキー
[出演] 山川晶子 佐藤明美 藤本晃子 太細七保
田中朝 埜田慎太郎 本多裕貴 大谷真郷 松山バレエ団
※特別録音による音源
[料金] S6,500 S(子供)4,500 A4,500 A(子供)3,500 B2,500
Ⓞ松山バレエ団公演事務局 03-3408-7939(10:00~18:00)

21
日
15:00

松山バレエ団『くるみ割り人形』全幕

[演目] バレエ『くるみ割り人形』
[台本・構成・演出・振付] 清水哲太郎
[音楽] ピョートル・チャイコフスキー
[出演] 森下洋子 大谷真郷 松山バレエ団
[指揮] 末廣 誠
[管弦楽] 東京ニューフィルハーモニック管弦楽団
[料金] GS16,000 S14,000 S(子供)7,000 A10,000
B6,000 C4,000 C(学生)2,000
Ⓞ松山バレエ団公演事務局 03-3408-7939(10:00~18:00)

23
火
18:30

第75回チャリティーコンサート「メサイア」

[指揮] 梅田俊明
[管弦楽] 藝大フィルハーモニア管弦楽団
[合唱] 東京藝術大学音楽学部声楽科生および大学院音楽研究科生
[曲目] ヘンデル:オラトリオ「メサイア(救世主)」
[料金] SS9,000 S6,000 A5,000 B4,000 C3,000
Ⓞ朝日新聞厚生文化事業団 03-5540-7446

25
木
19:00

関連情報 P13

都響スペシャル「第九」

[指揮] サツシャ・ゲッツェル
[出演] 森谷真理(S) 小林由佳(Ms) チャールズ・キム(T) 加未 徹(Br)
[合唱] 新国立劇場合唱団
[曲目] ベートーヴェン:交響曲第9番 二短調 Op.125<合唱付>
[料金] S9,500 A8,500 B7,500 C6,500 Ex4,500
Ⓞ都響ガイド 0570-056-057

27
土
13:00
17:30

ウクライナ国立バレエ『ジゼル』

[出演] クラフチェンコ スハルコフ 他
[管弦楽] ウクライナ国立歌劇場管弦楽団
[料金] SS21,000 S19,000 A16,000
B14,000 C11,000 D8,000
Ⓞ光藍社チケットセンター
050-3776-6184(12:00~15:00<土日祝日を除く>)

28
日
15:00

東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団
第九特別演奏会 2025

[指揮] 高関 健
[出演] 中江早希(S) 相田麻純(Ms) 小堀勇介(T) 大沼 徹(Br)
[合唱] 東京シティ・フィル・コア
[曲目] ベートーヴェン:交響曲第9番 二短調 Op.125<合唱付>
[料金] S9,000 A7,000 B5,000 C4,000
Ⓞ東京シティ・フィル チケットサービス 03-5624-4002

31
木
13:00

第23回ベートーヴェンは凄い!
「全交響曲連続演奏会」2025

[指揮] 小林研一郎
[管弦楽] 岩城宏之メモリアル・オーケストラ(コンサートマスター:篠崎史紀)
[料金] S30,000 A25,000 B20,000 C10,000 D1,000
Ⓞメイ・コーポレーション 03-3584-1951

3
水
19:00

清水理恵 ソプラノ・リサイタル
[出演] 清水理恵 (S) 小谷彩子 (Pf)
[曲目] ロッシーニ: オペラ「ランスへの旅」より
「黄金の百合の心地良い陰で」他
[料金] 指定5,000 学生(大学生以下)2,000
☎清水理恵ソプラノリサイタル事務局
riesoprano@yahoo.co.jp

4
木
14:30

主催公演 関連情報P11
ミュージック・ワークショップ・フェスタ(冬)
はじめましてクラシック〜ピアノ〜
[出演] 澤田知世(東京文化会館ワークショップ・リーダー)、角野未来 (Pf)
[料金] 指定550

5
金
11:00

主催公演 関連情報P11
ミュージック・ワークショップ・フェスタ(冬)
One Day コーラス
[出演] ジョルジュ・ブレンダス、アントニオ・ミゲル(カーザ・ダ・ムジカ ワークショップ・リーダー)、Sunny Lyla(東京文化会館ワークショップ・リーダー) [料金] 550

7
日
14:30

主催公演 関連情報P11
ミュージック・ワークショップ・フェスタ(冬)
ワークショップ・コンサート
「クラシックであそぼう！」
[出演] ジョルジュ・ブレンダス、ジョルジュ・ケイジ、アントニオ・ミゲル、パウロ・ネート(カーザ・ダ・ムジカ ワークショップ・リーダー)、伊原小百合、桜井しおり(東京文化会館ワークショップ・リーダー) [料金] 指定550

8
月
19:00

第4回 岡山 潔 メモリアル・コンサート
想いは四季とともに
[出演] 小林道夫 (Cem) 桐山建志 (Vn) 瀧村依里 (Vn) 河野文昭 (Vc) 他
[曲目] ヴィヴァルディ: 「四季」 他
[料金] 自由4,000 学生2,000
☎コンセール・プルミエ 042-662-6203

9
火
18:45

日本モーツァルト協会 第674回例会
デュルニッツ男爵のために
[出演] 中川優芽花 (Pf) [曲目] モーツァルト:
きらきら星変奏曲 ハ長調 K265 他
[料金] 自由5,000 学生2,000
☎日本モーツァルト協会 03-5467-0626

10
水
11:00

主催公演
上野 de クラシック Vol.114
平井美羽 (ヴァイオリン)
[曲目] パガニーニ: 「うつろな心」の主題による序奏と変奏曲 ト長調 Op.38 他
[料金] 指定1,100

19:00

白尾 彰 フルート・リサイタル・シリーズ
第7回 フルートのゴールデン・エイジ
[出演] 白尾 彰 (Fl) 白尾絵里 (Pf)
[曲目] タファネル: ウェーバーの「魔弾の射手」による幻想曲 他 [料金] 自由5,000 学生3,000
☎白尾 彰 フルート・リサイタル・シリーズ
実行委員会 shirao.recital@gmail.com

11
木
19:00

東京シンフォニエッタ第58回定期演奏会
[出演] 板倉康明 (Cond) 東京シンフォニエッタ
[曲目] 温 徳清: Leniakea for chamber orchestra (2024) 日本初演 他
[料金] 自由4,000 学生2,000
☎AMATI 03-3560-3010

12
金
19:00

四人組とその仲間たち その31
[出演] 外園祥一郎 (Eu) 黒田鈴尊 (尺八) 藤本隆文 (Pc) 大倉卓也 (Pf) 木ノ脇道元 (Fl) 他
[曲目] 池辺晋一郎: 新作 他
[料金] 自由4,000 学生2,000
☎全音楽譜出版社 03-3227-6283

13
土
14:00

第23回本間一夫記念日本点字図書館
チャリティーコンサート
「室内楽の愉しみ」
[出演] 澤 亜樹 (Vn) 澤 和樹 (Va) 鳥羽咲音 (Vc) 菅田利佳 (Pf)
[曲目] フォーレ: ピアノ四重奏曲第1番 他
[料金] 自由4,000
☎日本点字図書館 03-3209-0241

14
日
14:00

朴葵姫 ギター・リサイタル 2025
スペイン、ギターの記憶
—朴葵姫が奏でる、原点への旅
[曲目] J.ロドリゴ: ヘネラリーフェの辺りて 他
[料金] 指定6,000
☎東京音協 <https://t-onkyo.co.jp/>

15
月
14:00

ヴォルフガング・ダヴィッド (Vn) & 梯 剛之 (Pf) デュオ・リサイタル 2025
[曲目] ラヴェル: ヴァイオリン・ソナタ 他
[料金] 指定5,000 ペア券4,500 学生3,500
☎ソナーレ・アートオフィス 03-5754-3102

20
土
15:00

主催公演 関連情報P23
舞台芸術創造事業
歌劇「ブラームス マゲローネのロマンス
by ティーク」
[演出] 岩田達宗 [出演] 小森輝彦 (Br/朗読) 小玉友里花 (S) 井出徳彦 (Pf) 山本 裕 (ダンス) [楽曲] ブラームス: 「ティークのマゲローネによるロマンス」
[料金] S6,600 A4,400 B2,200

21
日
14:00

第32回和波孝禧 (Vn)
クリスマス・パッサリシリーズ
パッサとイザイの会おうところ その1
[曲目] J.S. パッサ: 無伴奏ヴァイオリン・ソナタ第2番 BWV1003 他 [料金] 指定4,500
☎AMATI 03-3560-3010

22
月
19:00

violin & guitar duo concert
「イシダとマツダ」
[出演] 石田泰尚 (Vn) 松田 弦 (Gt)
[曲目] ドヴォルザーク: ソナチネ Op.100 他
[料金] 指定6,600 学生3,300
☎未来音楽企画 03-5843-8270

23
火
19:00

新進演奏家育成プロジェクトリサイタル・シリーズ TOKYO148
荒井泉美 ピアノ・リサイタル
[曲目] ドビュッシー: 前奏曲集 第2集 他
[料金] 自由2,500
☎日本演奏連盟 03-3539-5131

24
水
19:00

田辺恒弥作品展
—ソロと室内楽の領域—
[出演] 名倉誠人 (Mar) 浅利 真 (A-Sax) 福原彰美 (Pf) 鈴木 舞 (Vn) 他 [曲目] 田辺恒弥: 「入江を巡って」 マリンバとフルートのための他 [料金] 自由6,000 学生2,000
☎ムジカキアラ 03-6431-8186

25
木
19:00

アミティ・カルテット
弦楽四重奏リサイタル 2025
〜バルトーク弦楽四重奏曲
全曲演奏テクルス vol.3
[出演] 尾池亜美 (Vn) 須山暢大 (Vn) 安達真理 (Va) 山澤 慧 (Vc)
[曲目] バルトーク: 弦楽四重奏曲第3番 他
[料金] 自由4,000 学生2,000
☎東京コンサーツ 03-3200-9755

26
金
18:30

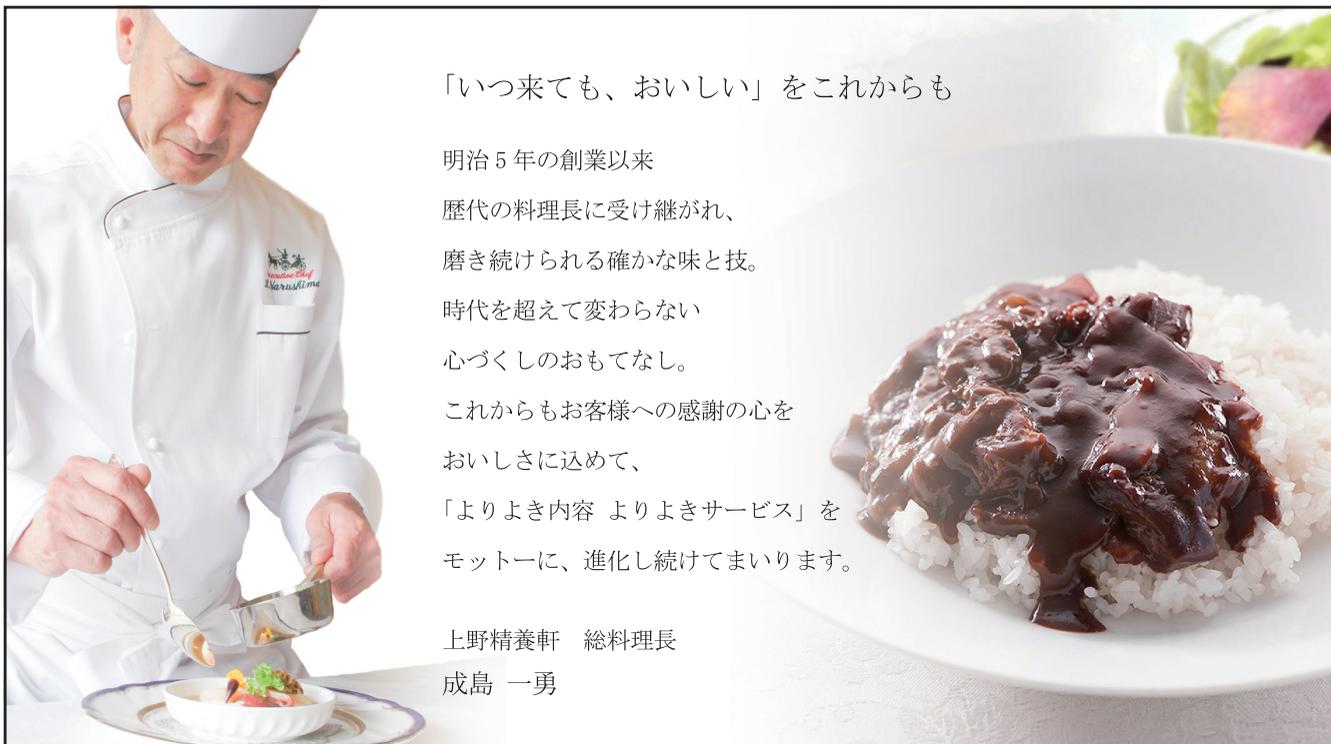
未来へ、世界へ —東西室内楽の饗宴—
[出演] 邦楽四重奏団(三絃・箏・尺八) 上原真佐輝(箏) 小室旺士(箏・三絃) 長谷川将山(尺八) カルテット・エクセルシオ(弦楽四重奏) [曲目] 三善 晃: トルスIV 他
[料金] 自由4,000 学生2,000
☎日本音楽国際交流会 03-3962-1553

27
土
14:15

普天間かおり コンサート
〜ココロノオマモリ〜
[出演] 普天間かおり (Vo) 紺野紗衣 (Pf) 平石カツミ (Ba) 萱谷亮一 (Pc) [曲目] 海よ哭け 他 [料金] 指定6,200 (当日6,700)
☎Ro-On チケット 047-365-9960

31
水
13:00
終演予定
20:45

第20回ベートーヴェン弦楽四重奏曲
[9曲] 演奏会
[出演] 古典四重奏団、ほのカルテット、カルテット・エクセルシオ [曲目] ベートーヴェン: 弦楽四重奏曲「ラズモフスキー第1番〜第3番」他 [料金] 指定11,000
☎ミリオコンサート協会 03-3501-5638



「いつ来ても、おいしい」をこれからも

明治5年の創業以来

歴代の料理長に受け継がれ、

磨き続けられる確かな味と技。

時代を超えて変わらない

心づくしのおもてなし。

これからもお客様への感謝の心を

おいしさに込めて、

「よりよき内容 よりよきサービス」を

モットーに、進化し続けてまいります。

上野精養軒 総料理長

成島 一勇



文化会館店
フォレスティーク精養軒
東京文化会館 2階



文化会館店
café HIBIKI
東京文化会館 1階

パートさん
アルバイトさん
スタッフ募集中!

東京都台東区上野公園 5-45 TEL:03(3821)9151



上野精養軒本店 レストラン
グリル（フレンチ）



上野精養軒本店 レストラン（洋食）

東京都台東区上野公園 4-58 TEL:03(3821)2181 (代)



上野精養軒

上野公園内不忍池畔

ご婚礼・ご宴会・レストラン

<https://www.seiyoken.co.jp/>



愛しくなったり。

やさしくなれたり、勇気づけられたり。

その一步を踏み出させてくれたり。

音楽は、ひとに生きるチカラを与えてくれます。

住まいを奏でる。

私たちも住まいづくりを通じて、

一人ひとりの暮らしに寄り添い、

よりよい毎日を創っていきたいと考えます。

未来を生きる住まいを奏でていきます。

大切な暮らしを、もっと、ずっと。



長谷工のサステナビリティQ

住まいと暮らしの
創造企業グループ



長谷エグループ

地元応援団 +朝日。



pannapitta

朝日信金イメージキャラクター「パンナピッタ」 © '22 SANRIO APPR No. L622280



街の鼓動に敏感です

朝日信用金庫

東京文化会館オフィシャル・パートナー

当館の主催事業は、次の企業の皆様からのご支援をいただき実施しています。



五野精養軒



長谷エグループ



朝日信用金庫

旭鉦末グループ 株式会社NHKアート 株式会社國光 サントリーパブリシティサービス株式会社
 JP東京特選会株式会社 新生ビルテクノ株式会社 スタインウェイ・ジャパン株式会社
 日本化学産業株式会社 日本電設工業株式会社 株式会社前川建築設計事務所

五十音順 (2025年7月1日現在)

ご支援のお願い

当館の主催事業をさらに充実強化するため、皆様からのご支援をお願い申し上げます。

主に個人様向け 賛助会員 会費(年額)一口2万円

※寄付金に対する税制上の優遇措置を受けることができます。

- 会員期間中、下記の発行物をお届けいたします。
 - ・東京文化会館情報誌「音脈」(年4回発行)
 - ・東京文化会館「アニュアル・レポート」(年1回年度末発行)
- 会員期間中、主催事業の稽古見学へご案内いたします。(複数回)



詳細はこちら



法人・団体様向け オフィシャル・パートナー

協賛金(年額)一口30万円

これからの東京文化会館をともに創り育てていくパートナーとして
 法人・団体様向けの協賛制度をご用意しております。ぜひご検討ください。



詳細はこちら



舞台芸術創造事業 歌劇『ブラームス マゲローネのロマンス by ティーク』

岩田達宗の発案による既存の歌曲集を「歌劇化」する企画の第3弾。今回はオペラを世に残していないブラームスがL.ティークの小説に曲を付けた連作歌曲を手掛ける。岩田達宗の演出ではバリトンの小森輝彦による歌唱と朗読がストーリー展開の鍵を握り、ソプラノの小玉友里花とのロマンティックな展開をダンサー山本裕と井出徳彦のピアノによって心の機微まで丁寧に描いていく。クリエイション現場では冒険物語と美しい恋の展開を岩田の独創的な視点で深掘りしながら進行。ブラームスの歌曲がモノ・オペラに仕立て上がる全く新しい世界に期待してほしい。



舞台美術を担当する松生紘子の美しく斬新なアイデアに一同拍手！

Information

12月20日(土) 15:00 小ホール

演出／構成 岩田達宗

出演 座長：小森輝彦(バリトン)
マゲローネ：小玉友里花(ソプラノ)
ペーター：山本 裕(振付・ダンス)
音楽：井出徳彦(ピアノ)

楽曲 ブラームス：『ティークのマゲローネによるロマンス』

上演形式 歌劇【原語(ドイツ語)上演/日本語字幕付】

料金 S席 6,600円 A席 4,400円 B席 2,200円
※各種割引あり



シアター・デビュー・ プログラム 『虫めづる姫君』

2022年に世界の若い聴衆のための創造性豊かな音楽作品に与えられる「The Young Audience Music Awards」のベストオペラ・コンサート部門にノミネートされたシアター・デビュー・プログラム『虫めづる姫君』。ブラッシュアップを重ね2025年6月20日、21日に待望の再演を果たした。開演前に流れる虫の音や水の音が梅雨の晴れ間と一体化し、小ホールは豊かな自然の情景に包まれていた。本来ならオーケストラで演奏されるような曲をピアノ、フルート、クラリネット、チェロのみで見事に平安絵巻を彩り、舞踏はダンサーの鍛え抜かれた体幹に裏打ちされた表現力で観客の目を釘付けにしていた。平安時代に書かれた物語を令和の時代にも通じるジェンダーや多様化といったテーマでみずみずしく描き出し、あらゆる世代の心を動かす舞台作品となった。



2025年度公演より

©飯田耕治

小学生からの声

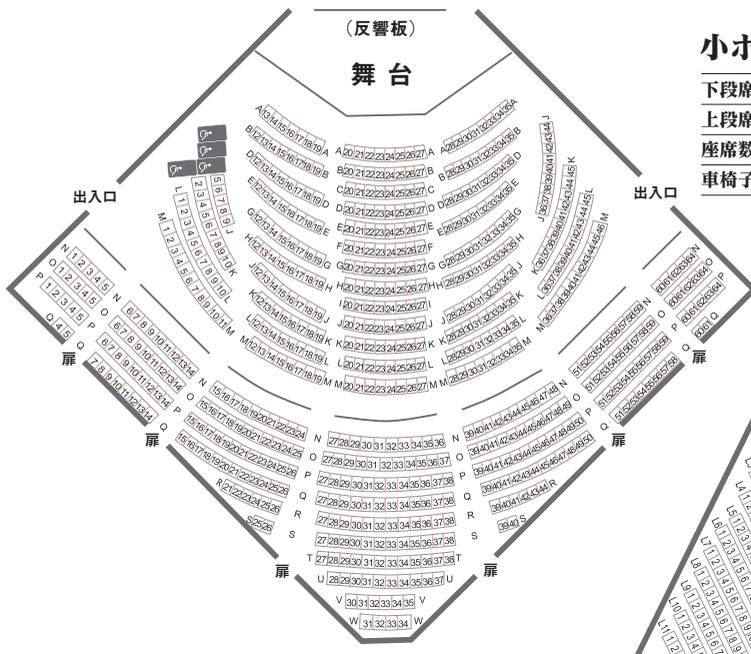
「周りを気にせず自分の意見を通せる姫に勇気をもらえました」

「ラップバトル最高！踊りで何の虫を表現しているのか考えるのが楽しかった」

大人からの声

「心から幸せそうな姫の世界観が子供にも伝わったようで連れてきてよかったです」

「クラシック、ラップ、舞踏、と一見交わらない分野に思えるが意外性の連続！」



小ホール

下段席	338
上段席	311
座席数計	649
車椅子席	4

大ホール

1階席	1,282
2階席	238
3階席	355
4階席	268
5階席	160
計	2,303
車椅子席	14

東京文化会館情報誌「オンミヤク」

音脈

Vol.100
2025
Autumn

令和7年8月29日発行(年4回発行)

発行

東京文化会館(公益財団法人東京都歴史文化財団)

〒110-8716
東京都台東区上野公園5-45
03-3828-2111(代)
X @tbunka_official
f @TokyoBunkaKaikan
tokyobunkakaikan



t-bunka.jp

東京文化会館チケットサービス
03-5685-0650 t-bunka.jp/tickets/

企画・編集

東京文化会館 広報担当

デザイン

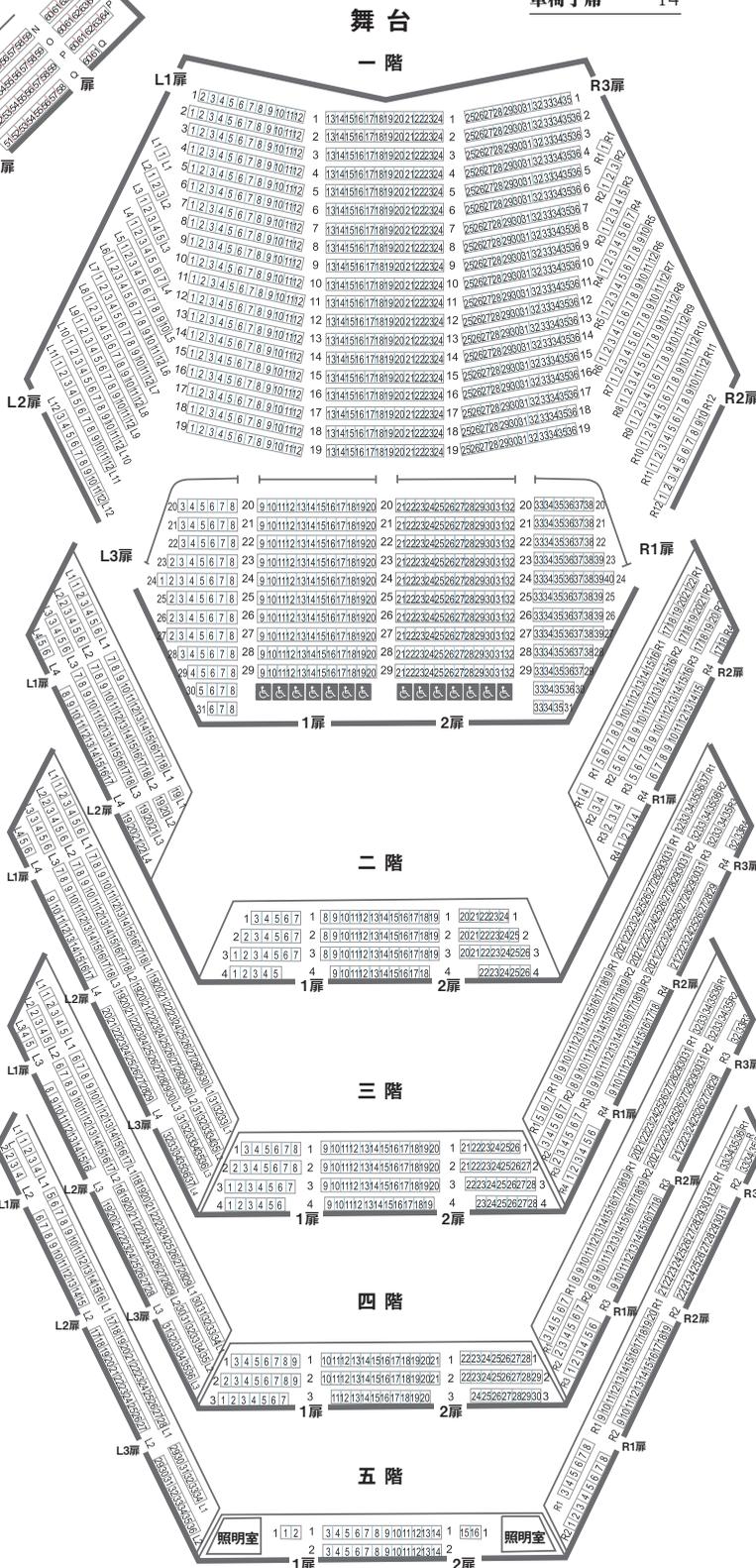
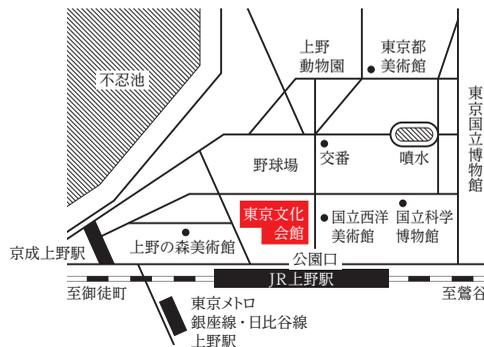
株式会社ファントムグラフィックス

印刷・製本

日経印刷株式会社 NP CREATION

アクセス

- JR上野駅公園口より徒歩1分
- 東京メトロ銀座線・日比谷線上野駅より徒歩5分
- 京成電鉄京成上野駅より徒歩7分



※ホールにはエレベーター、エスカレーターはございません。予めご了承ください。